

神奈川県後期高齢者医療広域連合

平成25年度

# 第1回登録モニター懇談会報告書

## 目次

- 次第 . . . 1 ページ
- モニター懇談会で出された  
主なご意見等（抜粋） . . . 2 ページ
- まとめ . . . 8 ページ
- 当日資料（名簿を除く） . . . 9 ページ

**神奈川県後期高齢者医療広域連合  
平成25年度第1回登録モニター懇談会**

開催日 平成25年6月7日(金) 午前10時~正午  
場 所 かながわ県民センター 305・306会議室  
出席者 モニター 21名(男性15名 女性6名)(登録モニター 40名)  
事務局職員 16名



《10:00》 開 会

- 1 開会のあいさつ(事務局長 安藤康恵)
- 2 社会保障制度改革国民会議における後期高齢者医療制度の検討状況の説明及び質疑応答
- 3 神奈川県後期高齢者医療における疾病統計に関する資料の説明及び質疑応答

《11:25》

- 4 会議室移動・グループ討議
  - (1) 自己紹介
  - (2) 自由討議

《12:15頃》 閉 会



## ○●○●は じ め に●○●○

平成 25 年度第 1 回登録モニター懇談会では、前半に 2 つの内容を説明させていただきました。1 つ目は、社会保障制度改革国民会議での検討事項や経過について、2 つ目は電子レセプトデータに基づいた疾病及び医療費の状況を、全国と神奈川県とで比較した内容を説明いたしました。

後半のグループ討議では、高齢者医療制度や前半での説明についてのご質問・ご意見を自由に討議していただきました。

参加していただきました登録モニターの皆様には様々なご意見をいただきましてありがとうございました。

いただいたご意見につきましては、事務局内で共有し、今後の運営に役立ててまいります。

### モニター懇談会で出された主なご意見(抜粋)

※ 発言いただいた趣旨を掲載しています。

#### 1. 後期高齢者医療制度全般について

●後期高齢者医療制度のメリットがよくわからない。なぜこの制度を作ったのか。

●平成 20 年から後期高齢者医療制度が開始されたが、以前の制度とどう変わったのかがよくわからない。制度を廃止する動きも出ているようなので勉強したいと思います。

●制度は役人がみんな決めている。国会があっても、日本は官僚主義なので、最終的には頭の良い役人がみんな決めている。そのことを理解しないとイケない。

●後期高齢者医療制度ができたとき、私は批判的な立場だったが、民主党政権が見直しに向けていろいろ取り組んだようだ。しかし、何も話が進んでない。自民党・公明党政権は後期高齢者医療制度の原案を作った政権だったが、今はどのような考えなのか見えてこない。

●制度のことについてはよくわからない。しかし、現在の後期高齢者医療制度は安定しているのでいいのかなと思います。後期高齢者も国保に含める案が出ていましたが、どうになってしまうのかと思う。

●後期高齢者医療制度の一番の問題は何かというと「後期」という名称。75歳以上の高齢者にとって「後期」という言葉は、無慈悲・無配慮である。健康診査も義務にしたらどうか。

●「後期高齢者」という名称と健康診査の義務化について議論をしてくださいと言っているが、未だにされていない。議論してください。

●広域連合議会と県民との関係はどうなっているのか。議会の構成はどのようになっているのか。制度について議論されていないのではないか。

#### 【事務局からの回答】

##### ■制度発足の経過

後期高齢者医療制度は平成20年度から施行されていますが、それ以前は老人保健法に基づく「老人保健制度」でした。「老人保健制度」では、国や地方自治体からの負担金や健康保険組合等からの拠出金を高齢者の医療費に充ててきましたが、

- ・現役世代と高齢者の費用負担が不明確であること
  - ・加入する保険制度や市区町村により保険料額に大きな差があること
- といった状況がありました。

このような状況を是正するため、

- ・現役世代と高齢者の費用負担区分の明確化（現役世代4割、高齢者1割）
- ・都道府県ごとの医療費水準に応じた保険料を高齢者全体で公平に負担する仕組みとすること

とした後期高齢者医療制度が発足しました。

##### ■後期高齢者医療広域連合について

広域連合は、「地方自治法」に基づく特別地方公共団体であり、お住まいの市町村と同様に議会・監査委員・選挙管理委員会などが設置された、独立した団体です。議会は県内8つのブロックの市町村議会の議員20名により年2回開催しており、予算・決算や条例の制定・改廃等の議案や、制度全般について議論し、施策の決定、承認等を行っております。

## 2. 情報の発信について

- 懇談会でのモニターからの意見を国に書類で提出したりしているのか。
- モニターからの意見は、報告書に掲載された後にはどうなっているのか。意見を言わせっぱなしでガス抜き場になっている。貴重なご意見をありがとうございますという反応しか返ってこない。貴重な意見に対する広域連合のその後の対応をモニターに報告するべきだ。
- 広域連合から情報が発信されてない。高齢者医療制度改革会議での検討内容や、そのことに対する都道府県・市町村の対応といった情報が、県民に伝わっていない。
- 神奈川県でも後期高齢者のことは議論されてない。モニターの意見を集約して、情報を発信していただきたい。

### 【事務局からの回答】

#### ■国への要望について

登録モニター懇談会でいただいたご意見や、広域連合から年度当初に送付させていただいております封筒を利用してのご意見については、定例的に開催されている全国広域連合協議会等を通じ、他の広域連合から同様の要望書が提出されている場合や、既に国から方針が示されているもの等を照合したうえで、国等へ要望するよう努めています。

#### ■市町村への情報発信について

広域連合では、県内33市町村の後期高齢者医療制度担当課長で構成された広域連合運営協議会幹事会を、例年、年4回開催し、登録モニター懇談会でいただいたご意見、ご要望をお伝えしています。

## 3. 保険料・医療費について

- 今まで健康でしたが、後期高齢者になって体調が悪くなり、医療機関を受診したところ、医療費が思ったよりも安くてびっくりした覚えがあります。

●制度が始まったときに国保から後期高齢者医療制度へ移動したが、保険料が高くなったことにびっくりした。負担に耐え切れない状況が続いたが、かろうじて体制を立て直すことができました。

●以前、けがをしたときの医療費が高かったので、高齢者になれば負担が少なくなるのかなと思っていました。孫はほとんど無料なので高齢者も無料の対象にしてほしいと思いました。

●医療機関での自己負担割合について疑問があります。割合は1割か3割ですが、問題なのは1円でも違うと1割から3割になってしまうことです。また、この判定基準もわかりにくいです。

●今後、医療費がどんどん高くなるのではと心配しています。

## 4. その他

### (1) 国民会議等の説明について

●政治の動きと制度論、また社会保険と社会保障の話が混同している。きちんと整理して説明すべきである。

●医者にかかっていない、薬も飲んでいないといった高齢者に、インセンティブを与えるような視点が欠けている。

●自民、公明、民主の3党の合意で物事が決まっていくような説明だったが、日本には他にも政党がある。後期高齢者医療制度に対する意見は他の政党からも出ている。他の政党では後期高齢者の意見はどうかはっきりと説明をしていただきたい。

●説明から空しさを感じる、国民会議では本当に国民の立場に立って意見を述べ、まとめようという姿勢があるのか、今日の説明からはわからなかったことが残念。本当に困っている人が委員の中にいないのではないかと疑問を持つ。本当に困っている人が声を大にして、厚生労働省や国民会議に声が伝わるような仕組みが必要じゃないかと思う。

**【事務局からの回答】**

**■国民からの意見募集について**

社会保障制度国民会議では、会議での審議の参考とするため、平成25年4月11日～同5月15日まで意見募集を行っていました。（個人・団体から714件の意見が提出されています。）

(2) 疾病分類の説明について

- 認知症について予防法等を説明してほしい。
  
- 疾病分類とレセプトの件数と医療費の件は圧倒的に循環器系統と骨折が多いと思った、老化していると骨がもろくなり、骨折が多くなるから仕方ないかなと思う。日頃から気をつけていかなければと思った。
  
- 医療費と平均寿命、健康寿命の関係、言い換えれば、医療費をかければ健康寿命が延びるのか。他に要素があるのではないか。この点について知りたいので機会があればまとめていただきたいです。
  
- がんの件数は意外と少ないですが、一件当たりの医療費は非常に高いと思いました。
  
- 疾病傾向は、日本人の中で大きな差はでないのではないかと思います。

(3) その他

- 後期高齢者の立場に立って市区町村窓口職員には答えていただきたい。
  
- 討議の前の説明につては傾聴に値する内容だったが、残念ながら、予定を20分オーバーしてしまった。最初から計画を午前11時20分に終わるといっていただくと良かった。

## 5. モニター懇談会の風景

開会のあいさつ



国民会議等の検討状況説明



グループ討議 (305 会議室) ①



グループ討議 (305 会議室) ②



グループ討議 (306 会議室) ①



グループ討議 (306 会議室) ②



## ま と め

### ◆◆◆今回参加した職員の感想◆◆◆

- 被保険者の皆様の制度に対する関心と、健康づくりに対する意識の高さを実感しました。
- 広域連合は市町村窓口からは距離があり、被保険者の皆様から直接意見を伺う機会にやや乏しく、こういった懇談会を積極的に開催する意義を感じました。
- 被保険者の皆様の率直な声を痛いほど感じ、自分が担当する業務の先には被保険者がいるのだということを再確認できる貴重な時間でした。
- 病気にかからないよう予防に力を入れていらっしゃる方のお話を伺い、改めて被保険者の皆様のご協力で当広域連合の事業を運営できていると実感しました。今回のモニター懇談会の中で、神奈川県では骨折の治療費に係る医療費が比較的に高いことについて統計資料を基に説明させていただきました部分がありましたが、このことも踏まえて、予防に努めていただければ幸いです。
- 被保険者の皆様から制度についてのご意見を伺い、改めて制度の話をする際にはわかりやすく丁寧な説明が重要だと感じました。今後の業務でも皆様が理解しやすい伝え方を考えていこうと思います。

今回は前半の説明が予定時刻を超過してしまい、グループ討議が短時間となりましたことを皆様にお詫び申し上げます。その中でも皆様の制度に関する疑問や日常の健康に対する気遣いなどの幅広いご意見を伺わせていただき、貴重な機会となりました。

登録モニター制度の運営につきましては、いつも皆様のご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。今後ともご意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。

# 1. 社会保障制度改革をめぐる議論の状況

平成25年6月7日  
モニタ一懇談会 資料1

## 社会保障制度改革国民会議

- 1 社会保障制度改革推進法に基づき設置
- 2 持続可能な社会保障制度の確立を目的に、社会保障制度改革を行うために必要な事項を審議するため、内閣に設置。
- 3 第1回開催：平成24年11月30日
- 4 設置期限：平成25年8月21日

<委員15名> (◎会長、○会長代理、敬称略)

◎ 清家 篤	慶應義塾長	
○ 遠藤 久夫	大学教授	医療保険部会長
大日向雅美	大学院教授	児童部会長
駒村 康平	大学教授	年金部会
神野 直彦	大学名誉教授	年金部会
永井 良三	大学学長	医療部会
宮本 太郎	大学院教授	特別部会部会長
山崎 泰彦	大学名誉教授	介護保険部会長
榊原 智子	新聞社	特別部会
伊藤 元重	大学院教授	
大島 伸一	研究センター	
権丈 善一	大学教授	
西沢 和彦	研究所研究員	
増田 寛也	研究所顧問	
宮武 剛	大学院教授	

議論の内容を国民会議に報告

連携

## 厚生労働省 社会保障審議会

- ①厚生労働省設置法第7条に基づき設置(委員30人以内)
- ②厚生労働大臣の諮問に応じて、社会保障に関する重要事項を調査審議する。
- ③6分科会及び部会等が設置(医療保険部会・介護保険部会・児童部会・年金部会他)

審議会・部会・特別部会の委員

声明

## 全国知事会

4月24日に声明を発表  
「(国保)保険者を都道府県とするだけでは、問題を先送りするだけ。真に持続可能な制度の構築に向けた、本質的かつ本格的な検討がなされることを望む」

## 自民党・公明党・民主党 三党実務者協議

- 1 出席議員(敬称略)  
(自民党)野田毅・嶋下一郎・宮沢洋一・福岡資麿  
(公明党)石井啓一・渡辺孝男・古谷範子  
(民主党)長妻昭・山井和則・梅村聡
- 2 平成24年6月15日  
三党合意の確認書  
「今後の公的年金制度、今後の高齢者医療制度にかかる改革については、あらかじめその内容等について三党間で合意に向けて協議する。」
- 3 国民会議と同時並行の進行を合意

## 国会

- ①法案提出後、衆議院・参議院の厚生労働委員会で審査の流れ。  
厚生労働省の所管に属する事項(法律案の審査や国政に関する調査などを行う。)を所管
- ②国会会期末 6月26日  
(7月20日(土)以降、参議院選挙)

## 2. 社会保障制度改革国民会議の検討事項

社会保障制度改革推進法に規定  
国民会議発足前の平成24年11月16日の  
3党実務者協議でも合意

### 【医療の改革】

- ①健康の維持増進・疾病の予防・早期発見等の積極的促進・医療従事者、医療施設等の確保及び有効活用
- ②医療保険制度の財政基盤安定化、保険料負担に関する公平の確保、療養の範囲の適正化等
- ③医療の在り方（個人の尊厳が重んじられ、患者の意思がより尊重されるよう必要な見直し、特に人生の最終段階を穏やかに過ごすことができる環境を整備）
- ④**今後の高齢者医療制度にかかる改革**

### 【介護の改革】

介護サービスの範囲の適正化等による効率化・重点化、低所得者等の保険料負担の増大の抑制

### 【年金の改革】

- ①今後の公的年金制度にかかる改革
- ②現行年金制度の改善（低年金・無年金者対策、厚生年金の適用拡大、被用者年金一元化等）

### 【少子化対策】

社会保障制度の基盤を維持するための少子化対策を総合的かつ着実に実施

### 3. 社会保障制度改革国民会議における議論の経過

(1) 国民会議の開催状況： 平成 24 年 11 月 30 日から平成 25 年 5 月 17 日まで 12 回開催（H25.5.31 現在）

#### (2) 関係者を交えての「医療・介護」に関する議論の実施

- 3 月 27 日(第 7 回) 四病院団体協議会・日本歯科医師会・日本薬剤師会・日本看護協会・全国老人福祉施設協議会、民間介護事業推進委員会
- 4 月 4 日(第 8 回) 健康保険組合連合会・全国健康保険協会・国民健康保険中央会・全国後期高齢者医療広域連合協議会
- 4 月 19 日(第 9 回) 国民会議委員のプレゼンテーション、日本医師会
- 4 月 22 日(第 10 回) これまで(第 1 回～第 9 回)の議論の整理・意見交換

(3) 平成 25 年 4 月 22 日 第 10 回社会保障制度改革国民会議 ➡ こういう意見があったというメモ  
「これまでの議論の整理（医療・介護分野）」(案)を厚生労働省が、提出・意見交換

#### 今後の議論の方向性

H25. 5. 16 経済財政諮問会議への報告より（記者会見の清家会長のとりまとめ発言）

- ①国民健康保険の保険者を市町村から都道府県単位に集約
- ②後期高齢者支援金に総報酬割導入後の影響
- ③医療提供体制の重点化・効率化
- ④フリーアクセス
- ⑤社会保障についての教育、広報が重要

平成 25 年 5 月 10 日及び 5 月 16 日  
社会保障審議会 医療保険部会

「これまでの議論の整理（医療・介護分野）」と主な論点（案）及び同(案)Ⅱ  
を厚生労働省が、提出。  
(資料別添 P 9 ～)

#### (4) 改革の実施及び目標時期（社会保障制度改革推進法 第 4 条）

政府は、基本方針に基づき、社会保障制度改革を行う。必要な法制上の措置については、法律施行後 1 年以内に、国民会議の審議結果等を踏まえて講ずる。（設置期限：平成 25 年 8 月 21 日）

## 4. 社会保障審議会における議論の内容

一部を要約

(1) 平成 25 年 5 月 10 日 第 61 回 社会保障審議会・医療保険部会（22 人）の議事録から

### 委員からの意見

#### ① 国民会議と医療保険部会の関係は？

②-1 国民会議で、国保保険者の都道府県化や後期高齢者支援金の全面総報酬割の導入などに議論が集中していることに対し、  
「国民会議には失望した。こんな狭い話しか議論していないのか。」(A)  
「相当程度偏った狭い幅の中での議論に過ぎない。」(B)  
「局所的な議論のまま、医療・介護の議論が一巡して整理されたのは、きわめて残念だ。」(C)

②-2 高齢者医療制度が将来に向かって持続可能な制度となるように、医療制度全体の枠組みを論議してほしい。(D)  
10年、20年先を見ると一定の改革をしないとたない。どうか国民会議で全体のビジョンを示すような議論をしてほしい。(E)

③ 議論の整理(案)は、委員が、それぞれの考えに基づいて発言されたものを羅列しただけのもの(F)

### 厚生労働省の見解

① 国民会議は、社会保障に係る全体の基本的な方向を示し、それに基づいて制度を具体化するのが医療保険部会の役割。ただ、国民会議がどの程度まで具体論を議論するかで変わってくる。

② 高齢者医療制度などについては、確かに1点の議論しかないが、三党の協議の事項であり、三党協議と国民会議での議論の進め方の問題であるので、コメントは差し控えたい。

③ 議論の整理(案)は、全般の議論となっており、どこまで深めるかは今後の国民会議の議論による。

厚生労働省は、社会保障審議会・医療保険部会からも意見聴取することとした。  
5月下旬、意見を整理して、国民会議側に伝えるなど連携を図る予定。

(2) 平成 25 年 4 月 25 日 第 43 回 社会保障審議会・介護保険部会（26 人）の議事録から

委員からの意見

① 介護保険部会と国民会議の役割分担・位置づけが分かりにくい。(G)

② 国民会議は、将来を見据えなければなりません。今は対応できても、その次はだめだ。そこまで展望を含めたプランを描いてほしい。(H)  
持続可能な介護保険のグランドデザインを、もう一度原点に戻り再構築してほしい。(I)

厚生労働省の見解

① 大きな方向や考え方の整理は国民会議が夏までに行い、それを踏まえ制度の具体的な内容は介護保険部会で議論する。両会議が連携、役割分担しながら議論していく。

部会長の意見

② 医療と介護は積み残しされていて、2015 年に向けて当面、何が必要か、5%の範囲内でと制約された中で議論しておりますが、将来に向けての展望が必要だということは、確かにそのとおりだと思います。

5. 三党合意に関する 5 月 10 日の国会（衆議院本会議）の質疑応答

長妻議員（民主党）の質疑

「三党合意の確認書が破棄された状態だということなのか。」

「今年 8 月までに年金制度改革、高齢者医療制度改革の法制上の措置を講じることに間違いはないか。」

安倍首相の答弁

「確認書が破棄されているとは認識していない。」

「三党合意では、消費税率の引き上げにあたっては、国民会議の議を経た社会保障制度改革を総合的かつ、集中的に推進することを確認することとされているが、必ずしも公的年金制度や高齢者医療制度の抜本改革を前提としたものでないと理解している。」

## 6. 三党実務者協議の状況（議事録の一部抜粋）

参  
考

平成 25 年 5 月 14 日 民主党「社会保障と税の一体改革調査会総会」（長妻議員）「三党協議と国民会議が同時並行で、高齢者医療と年金が如何にあるべきかを議論すべきだ。ただし、国民会議が先行して結論を出す前に三党協議と平仄（ひょうそく：つじつま）を合わせる必要がある。」

自民党

公的年金制度と高齢者医療制度について、現行制度の抜本改革を行うという前提ではなかったと理解している。(H25年2月22日)

①高齢者医療の保険料等 ②被用者保険者間の保険料格差・高齢者支援金の在り方等 ③市町村国保の保険料格差（最大5倍） ④国保の広域化等を協議する。(3月1日資料)

公的年金制度及び高齢者医療制度に係る改革について、議論の結果、必要になれば、法制上の措置を講じることになるものであり、法改正を排除しないが、前提ではない。(3月1日)

今の5万6千人の国税庁の体制から人員を増やさずに1万6千人で行っている年金機構の業務もやれるのか。求められる資格も異なり、効率的でない。(3/28)

保険料を納めてこなかった人にも最低保障年金を支給してしまえば、社会保険としての年金制度全体を空洞化させるのではないか。(4/4)

公明党

改革推進法にはあえて、「必要な」と規定しており、法律を素直に読めば、必要があれば、社会保障改革について法制上の措置を講じることになる。(3月1日)

民主党の年金案では、すべての事業所から天引きすることになるのだから、わざわざ歳入庁をつくる必要はない。(3/28)

非正規労働者対策など雇用対策でしっかり対応する必要がある。国民年金の納付率の問題のために、年金制度を抜本的に改革することが適当なのか疑問。(4/4)

民主党

①保険料上昇スピード格差 ②医療保険の分断  
③被用者保険者間の保険料格差・高齢者支援格差 ④市町村国保の保険料格差（最大5倍）  
⑤国保の広域化等を協議する。(3月1日資料)

民主  
党  
提  
出  
資  
料  
か  
ら

①H27年度、**後期高齢者医療制度を廃止、75歳以上は国保又は被用者保険に加入。**  
(75歳以上の財政運営は都道府県に)  
②H32年度、**国保は、全年齢を対象に財政運営を都道府県単位化（国保の広域化）**

**所得比例年金の創設（年金一元化）**（H28年度）  
①15～64歳 ②保険料率15%  
③被用者は「給与収入」で保険料算定し、労使折半  
④自営業者は「売上－必要経費」で算定  
⑤支給開始年齢65歳

**最低保障年金の創設**（H28年度）  
①所得比例年金額に応じて、最大月7万円  
②支給開始年齢65歳

**歳入庁の創設**  
国税庁・日本年金機構・協会けんぽ、労働局を一つにし、現在の国税庁の人員体制で対応する。

要望

4月4日以来の5月16日に協議を再開し、要望。  
①毎週、必ず開催すること  
②協議内容を国民会議に配布すること

## 7. 平成25年4月24日 全国知事会の声明

### 社会保障制度改革国民会議における国民健康保険の議論について

社会保障制度改革国民会議において、国民健康保険等医療保険制度の抜本的な改革に向けた議論が進められているところである。

全国知事会としては、第5回社会保障制度改革国民会議において申し入れたとおり、国保について、保険料、被用者保険との財政調整、公費投入等をいかに組み合わせる持続可能な制度を実現するのか、その方針の明確化が必須であり、保険者のあり方については、国の定率負担の引上げや安定財源の確保を図ることなどにより、構造的な問題を早急に解決した上で検討すべきものとする。

これまで、社会保障制度改革国民会議では、大前提である構造的な問題の抜本的解決について十分な議論を尽くす前に、保険者のあり方の議論に終始しているように見受けられるが、言うまでもなく保険者を都道府県とするだけでは、問題を先送りするだけで、持続可能な制度の構築には、ほど遠いものである。

都道府県としては、医療保険における最後のセーフティネットである国保が持続可能な制度となるよう、抜本的な改革に市町村とともにしっかり取り組んでいく考えである。社会保障制度改革国民会議においては、真に持続可能な制度の構築に向けた、本質的かつ本格的な検討がなされることを望む。

平成25年4月24日

全国知事会 社会保障常任委員会  
委員長 栃木県知事 福田 富一

<メモ用>

平成25年5月16日	第62回社会保障審議会医療保険部会	参考資料2
平成25年5月10日	第61回社会保障審議会医療保険部会	資料3

# 「これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理 (医療・介護分野) (案)」と主な論点 (案)

平成25年5月10日

厚生労働省

「これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）」と主な論点（案）

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）	主な論点（案）
<p>■ <b>医療保険制度の財政基盤の安定化・保険料に係る国民の負担に関わる公平の確保</b> 【総報酬割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健保組合間、健保組合と協会けんぽの間の構造的要因に着目した財政調整に踏み込むべき。</li> <li>○ 高齢者医療の拠出金について、総報酬割を導入すべき。被用者間で助け合うべき。</li> <li>○ 後期高齢者支援金の負担金に対する全面総報酬割の導入、その際に浮いた公費の投入の国保優先の実現を図る必要。</li> <li>○ 後期高齢者支援金の全面報酬割と国保の都道府県化、更には所得の高い被保険者からなる国保組合への定率補助の廃止を一体的に実現すれば、被用者保険者間のみならず市町村間の保険料負担の格差の是正を図ることができることになり、保険制度を通じて「保険料負担に係る国民の負担に関する公平の確保」との『社会保障制度改革推進法』の趣旨を実現でき、消費税率引上げのタイミングにふさわしい内容の改革となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期高齢者支援金の全面総報酬割の導入について</li> <li>・ 後期高齢者支援金の全面総報酬割の導入により生じる財源の使い途について（協会けんぽの国庫補助、高齢者医療の給付費、国保の国庫補助等）</li> </ul>

	<p>○ 後期高齢者支援金の総報酬割の導入については、浮くとされる国庫負担分を国債残高圧縮への充当(=将来世代へのツケの先送りの抑制)に使うべきとの意見に加え、協会けんぽの国庫補助率20%の引上げに使うべきとの意見や、前期高齢者の給付費に充当することによって被用者保険全体の負担軽減を図るべきとの意見など、様々な意見があることも踏まえ、浮いた財源の使途も含めて、検討すべき。</p>	
<p><b>【国保の保険者】</b></p>	<p>○ 医療提供体制改革の実効性を高めるためには、医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とすることにより、保険者機能を通じた受益と負担の牽制を働かせることが効果的。</p> <p>○ 国民健康保険の赤字構造を抜本的に解決した上で、国民健康保険の保険者を都道府県とするべき。ただし、その際には、保険料徴収・保健事業等引き続き市町村が担うことが適切な業務が存在することから、都道府県と市町村が適切に役割分担する仕組みとすることが必要。</p> <p>○ 地域医療提供体制整備の責任主体と、国民健康保険の保険者を都道府県に一本化し、地域医療の提供水準と保険料等の住民負担のあり方を総合的に検討することが可能な望ましい体制を実現すべき。</p>	<p>① 国保の保険者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とするか、市町村を保険者として、改善を図っていくか</li> <li>▪ 国保保険者を都道府県とした場合に、保険料徴収・保健事業等を引き続き市町村が担うことについて</li> <li>▪ 国保の広域化に当たり、医療費適正化や保険料徴収に対する地域の取組を反映させる仕組みについて</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国保の広域化に当たっては、医療費適正化や保険料徴収に対する地域の取組を反映させる仕組みを検討する必要がある。</li> <li>○ 広域化によって保険料負担を平準化するに当たり、医療費水準が違うことによって保険料水準が高くなることは不公平でないことに留意すべき。</li> <li>○ 市町村国保の広域化については、平成27年度から実施される都道府県単位の共同事業の拡大による保険料の平準化の状況を見ながら、検討することが適当。</li> <li>○ 保険財政安定化事業により市町村国保の財政は県単位化されるが、老人保健制度と同様に責任者不在の仕組み。都道府県が地域保険に参画するとともに、都道府県への医療供給に係る統制力と地域特性に応じた診療報酬設定の一部権限委譲も必要である。</li> <li>○ 国保の広域化については、リスク分散機能の強化や事務の共同化・効率化といった広域化のメリットを追求しつつ、地域の実態に即応した保険事業（保険料徴収、保健施設活動、医療費適正化対策等）を推進するには、市町村保険者を維持しつつ、都道府県単位の共同事業の改善により対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>② 国保の財政基盤について <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 後期高齢者支援金の全面総報酬割の導入により生じる財源の使い途について（再掲）</li> <li>▪ 国保の赤字構造の抜本的解決について</li> </ul> </li> <li>③ スケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 平成27年度から実施される都道府県単位の共同事業の拡大との関係について</li> <li>▪ 医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とする場合の医療計画の策定期との関係について</li> </ul> </li> </ul>
--	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保険料負担者等の公平感へ配慮するため、所得捕捉の精度に関し、改めて点検・強化を図るべき。</li> <li>○ 欧州諸国の低賃金の方の保険料を免除しても、雇用者責任を果たすという制度を日本でも考えるべき。</li> </ul>	
<p>■ 高齢者医療制度の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者医療制度の在り方は、地域保険の在り方・再編成と並行して議論すべき。</li> </ul>	

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）		主な論点（案）
<p>■ 医療従事者、医療施設等の確保及び有効活用等【医療・介護の提供体制の在り方】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とする、さらには医療計画の策定者である都道府県に保険医療機関の指定・取消権限を与えるほか、その実効性を高めるための諸施策を講じることとし、これらの方向性を医療法改正で明示すべき。</li> <li>○ 医療提供体制改革の実効性を高めるためには、医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とすることにより、保険者機能を通じた受益と負担の牽制を働かせることが効果的。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都道府県に保険医療機関の指定・取消権限を付与する等の実効性を高めるための取組について</li> </ul>

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）	主な論点（案）
<p>■ 医療保険における療養の範囲の適正化等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現世代の負担増・給付抑制によって、将来世代の負担増・給付減を緩和する視点が不可欠である。</li> <li>○ 中高所得層高齢者の本人負担の引き上げ、給付範囲の見直し・効率化を図るべき。</li> <li>○ 際限ない高齢者向け給付の増大は現役世代の生活設計を破綻させるため、「年齢別」から「経済力別」へ負担の原則を転換すべき。</li> <li>○ 低所得者への配慮は当然として、70歳以上の高額療養費、特に外来特例の見直しを行うべき。</li> <li>○ 70—74歳の医療費自己負担は法律では2割であるのに、確たる理由もなく暫定的に1割のまま。</li> <li>○ 70—74歳の窓口負担について、本則を適用すべき。</li> <li>○ 後発医薬品の使用促進をはじめ、医薬品に関する見直し等について、具体的に医療費がいくら減るかといった議論をすべき。</li> </ul>

# 「これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理 (医療・介護分野) (案)」と主な論点 (案) II

平成25年5月16日

厚生労働省

「これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）」と主な論点（案）

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）	主な論点（案）
<p>■ 基本的な考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いつでも、好きなところで、お金の心配をせずに、求める医療を受けることができる」医療から、「必要なときに適切な医療を適切な場所で最小の費用で受ける」医療に転換すべき。その際、適切な医療の提供とは、疾病や障害に合った適切な場で医療を提供することを基本に考えるべき。</li> <li>○ 「病院で治す」医療から超高齢社会に合った「地域全体で、治し・支える医療」へ転換することが必要である。</li> <li>○ 医療資源を国民の財産と考え、適正に養成、配置し有効に使用できるシステムとする必要がある、個人のすべての要求に応えることは不可能であることを前提に制度を再編すべき。</li> <li>○ 社会保障の改革は、社会保障の持続可能性のみならず、地域経済の持続可能性の観点から重要。</li> <li>○ 社会保障と人口動態、経済、産業、雇用の関係性と今後の方向は、地域ごとに異なっており、そのあり方は地域毎に考えていく必要がある。</li> </ul>

- 地域医療を守るためには、地域医療提供体制の整備と国民皆保険を最終的に支える「医療保険における最後のセーフティネット」である国民健康保険のあり方を一体的に検討すべき。
- 消費増税に見合った社会保障改革が行われるかが重要であり、医療・介護1.6兆円の充実・効率化それぞれの内容を明らかにすべき。
- 一体改革では、改革があたかもすみやかに実行され、その効果もすぐに現れることを前提とした財政計画が立てられていたが、再考の必要が出てくる。例えば、医療提供体制改革により2015年度までに平均在院日数の減少等で4,400億円の効率化が生じることを見込んで、それも財源とした公費の追加が計画されていたが、さすがに2015年度までにその効果を期待することは難しいなど、改革のタイミング、スピードとこれまでの財政計画との調整は行わなくてはならない。

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）	主な論点（案）
<p>■ <b>健康の維持増進、疾病の予防及び早期発見</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康の維持・疾病の予防に対するインセンティブが働くような仕組みの構築を推進すべき。</li> <li>○ 健康寿命の問題は、医療も含め、地域にあった包括的なシステムが必要。各自治体に取り組むべき。</li> <li>○ 医療費財源や消費税財源を充て、医療の質の検証やレセプトチェックに有効なデータベースの構築、ICTの活用を行うことが重要である。</li> <li>○ 高齢者の地域活動により医療費の節減は可能。</li> <li>○ 高齢者の社会参加を通じた介護予防を推進。</li> </ul>

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（案）		主な論点（案）
<p>■ 医療従事者、医療施設等の確保及び有効活用等 【医療・介護の提供体制の在り方】</p>	<p>○ 医療、介護、看取りまで継ぎ目のない地域医療・包括ケアを目標として各地域の医療・介護需要ピーク時までの地域医療・包括ケアビジョンを作成すべき。その際、地域医療ビジョンは、平成30年度とは言わず前倒しで作成。そのビジョンの実現に向けて、都道府県は地域医療計画を、市町村は地域包括ケア計画を、一定年間隔で策定すべき。それに沿った医療機能の分化・連携を促すための基金を創設（財源として消費税増収を活用）し、診療報酬や介護報酬による利益誘導ではなく、まずは補助金的手法で誘導すべき。医療機能の分化・連携が進んだ後、補助金的手法にあてていた消費税増収分を、順次医療機能ごとの診療報酬重点配分に移行していくべき。</p> <p>○ 基金による財政支援は、地域医療・包括ケアビジョンの実現に向けて、具体的な地域医療計画・地域包括ケア計画が策定され、計画の実効性確保の手段も整備されることを前提とすべき。</p> <p>○ 各都道府県が2次医療圏ごとに基準病床数を高度急性期・一般急性期・亜急性期といった新たな医療機能別に算定し（国が標準を示しつつ、地域の実情に応じて都道府県が補正を行う）、地域医療計画に盛り込むべき。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 医療計画の見直し及び補助金的手法と診療報酬について</li> <li>▪ 都道府県に保険医療機関の指定・取消権限を付与する等の実効性を高めるための取組について</li> <li>▪ 診療報酬の地域ごとの柔軟性の検討について</li> </ul>

- 地域包括ケア計画は、市町村が主体となって、地域の高齢化ピーク時までの計画を策定し、介護だけでなく、在宅医療、住まい、生活支援、予防を位置づけるべき。特に「住まい」の確保は、長期療養患者や介護施設からの軽度要介護者の受け皿としても重要。
- 医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とする、さらには医療計画の策定者である都道府県に保険医療機関の指定・取消権限を与えるほか、その実効性を高めるための諸施策を講じることとし、これらの方向性を医療法改正で明示すべき。
- 医療提供体制改革の実効性を高めるためには、医療計画の策定者である都道府県を国保の保険者とすることにより、保険者機能を通じた受益と負担の牽制を働かせることが効果的。
- 医療法による機能分化と診療報酬による機能分化のそれぞれの特性を生かしながら、これまで以上に相互補完的に連携して医療提供体制の改革を進めるべき。
  - 現状は診療報酬による機能区分のウェイトが大きいように思われるが、地域偏在の是正の視点から医療計画を含めた医療法による機能分化の重要性を見直すべきではないか。

- 医療法改正による地域医療計画の見直しには相応の時間を要することから、改革速度を速める意味で、まずは次期診療報酬改定において、診療報酬の特性を活かした、機能分化のための取組を実施し、しかる後に地域医療計画と連動させるべき。
- 時代によって医療は変わる。医療資源は有限であることを前提に、医療需要に基づいて医療資源を算定し、提供体制の総合計画を定めるべき。
- 地域における病院・病床機能の役割分担・連携の望ましい姿を住民や医療提供者等に広く示すものとして、地域毎の医療資源の実態をベースに積み上げて、全体のあるべき姿を作成した実行可能な医療提供体制のビジョンを、都道府県知事が示すべき。具体的な仕組みについては、地方と協議し、地方の理解を得て構築すべき。
- 都道府県が、これまで以上に地域医療提供体制の整備を積極的かつ主体的に行うことができるよう、例えば、保険医療機関の指定・取消権限を都道府県に付与するなど、都道府県の役割を拡大すべき。
- 診療報酬や医療計画など、全国一律の規制等をどこまで緩和するか、地域ごとの医療政策の柔軟性を検討する必

	<p>要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の実情を踏まえた診療報酬の決定ができる仕組みを積極的に活用すべき。</li> <li>○ 都道府県医療計画の策定や医療機関の開設における医療保険者・市町村の積極的な関与。</li> </ul>	
<p><b>【外来の役割分担の在り方】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フリーアクセスを守るためにも初診時一定病床数（例：200床）以上の一般病床での紹介のない外来受診について、初診時特定療養費に代えて、一定額（例：1万円）の定額自己負担を導入すべき。同様の仕組みを再診時にも検討。この場合、救急車の適正利用についても別途検討する必要。</li> <li>○ 患者に対して一貫した病歴、受診行動の管理を行うとともに、専門医や病院、介護関係者との間の連携の主役を担当するなど、継続的な保健指導や疾病予防活動を行う日本型総合医のあり方を検討すべき。</li> <li>○ 医療機関が役割分担を行うこと、一人の医者が総合的に高齢者を診ることなど、フリーアクセスの問題やかかりつけ医への受診体制の変革について結論を出すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 一定病床数以上の病院の紹介のない外来受診の定額自己負担の導入について</li> <li>▪ かかりつけ医等のあり方について</li> </ul>

**【在宅医療と在宅介護の連携の在り方等】**

- 病院頼み、介護施設頼みからの脱却をはっきりと示すべき。看取りの体制さえできないという危機感を持って対応すべき。
- 市町村が中心となって、地域で医療と介護を一体的に提供できる体制の整備を図るべき。医療・介護の連携・調整の機能は法律上に位置付ける。
- 老後の暮らしの質を良くする観点から、医療と介護をどう連携させるか考えるべき。
- 「キュア」から「ケア」重視の生活支援と看取りの体制を確保するため、医療と介護が一体化した地域包括ケア体制を構築するべき。原則、すべての診療所を在宅療養支援診療所とすること等を検討すべき。また、地域包括ケアへの参画を条件に、こうした診療所や、これを利用する患者への優遇策を検討するべき。
- 高齢化が進む環境下で効率的に都市サービスを供給する体制が必要であり、都市のコンパクトシティ化と、それに応じて医療・介護施設を含めた必要な都市機能の再配置を行うべき。

- ・ 在宅医療の推進について
- ・ 地域における医療と介護の一体的提供について

	<p>○ 医療機関と在宅患者を結びつけるコーディネーターや支援組織が必要である。</p>	
<p><b>【医療関連データの収集・分析等】</b></p>	<p>○ 医療、介護、看取りまで継ぎ目のない地域医療・包括ケアを創生するためには、人口推計をはじめ、地域の特性に配慮した医療介護資源とニーズに関連するデータの可視化が重要。各地域からの報告内容の妥当性をチェックするとともに、既存データを集約・統合し、足らざるデータは収集することにより、住民、地域医療計画、地域包括ケア計画作成者に提供していくべき。</p> <p>○ データを収集して、地域による一人当たり医療費のばらつきの原因や地域の取組の費用対効果を研究すべき。</p> <p>○ 保険者がレセプト情報などを使って医療機関の評価を行い、被保険者に伝えることを考えるべき。</p> <p>○ 医療費財源や消費税財源を充て、医療の質の検証やレセプトチェックに有効なデータベースの構築、ICTの活用を行うことが重要である。</p> <p>○ 効果的かつ効率的な医療の提供に資するよう、データを収集・分析し、医療の質の更なる向上につなげることが必要である。保険で承認された医療も費用対効果などの観点から常に再評価されるべき。</p>	<p>・ 地域の特性に配慮した医療介護資源とニーズに関連するデータの収集やその活用について</p>

- |  |  |  |
|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 科学的根拠に基づいた医療を提供すべきであり、診療内容の選択の基準を提示できるようにすべき。</li><li>○ 地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを構築する上で、地域の特徴や課題が客観的に把握できるようにデータを整理し「見える化」。</li></ul> |  |
|--|--|--|

これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理（医療・介護分野）（案）	主な論点（案）
<p>■ 医療保険における療養の範囲の適正化等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現世代の負担増・給付抑制によって、将来世代の負担増・給付減を緩和する視点が不可欠である。</li> <li>○ 中高所得層高齢者の本人負担の引き上げ、給付範囲の見直し・効率化を図るべき。</li> <li>○ 際限ない高齢者向け給付の増大は現役世代の生活設計を破綻させるため、「年齢別」から「経済力別」へ負担の原則を転換すべき。</li> <li>○ 低所得者への配慮は当然として、70歳以上の高額療養費、特に外来特例の見直しを行うべき。</li> <li>○ 70—74歳の医療費自己負担は法律では2割であるのに、確たる理由もなく暫定的に1割のまま。</li> <li>○ 70—74歳の窓口負担について、本則を適用すべき。</li> <li>○ 後発医薬品の使用促進をはじめ、医薬品に関する見直し等について、具体的に医療費がいくら減るかといった議論をすべき。</li> </ul>

平成23年度 疾病分類統計(平成23年5月診療分)

入院・入院外・合計

モニター懇談会資料2

疾病分類(神奈川県分)	入院				入院外(通院)				合計			
	件数	構成比	点数	構成比	件数	構成比	点数	構成比	件数	構成比	点数	構成比
0101 腸管感染症	169	0.39%	4,505,990	0.20%	1,541	0.15%	1,718,851	0.11%	1,710	0.16%	6,224,841	0.16%
0102 結核	102	0.24%	4,338,402	0.19%	435	0.04%	816,109	0.05%	537	0.05%	5,154,511	0.14%
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2	0.00%	46,131	0.00%	69	0.01%	158,314	0.01%	71	0.01%	204,445	0.01%
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	108	0.25%	2,811,331	0.12%	3,027	0.30%	2,503,498	0.16%	3,135	0.30%	5,314,829	0.14%
0105 ウイルス肝炎	73	0.17%	2,989,580	0.13%	4,763	0.47%	10,757,739	0.69%	4,836	0.46%	13,747,319	0.36%
0106 その他のウイルス疾患	10	0.02%	611,827	0.03%	68	0.01%	263,254	0.02%	78	0.01%	875,081	0.02%
0107 真菌症	30	0.07%	2,501,179	0.11%	6,194	0.61%	3,855,898	0.25%	6,224	0.59%	6,357,077	0.17%
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	18	0.04%	890,940	0.04%	522	0.05%	1,481,156	0.10%	540	0.05%	2,372,096	0.06%
0109 その他の感染症及び寄生虫症	313	0.72%	26,769,154	1.18%	1,095	0.11%	1,894,774	0.12%	1,408	0.13%	28,663,928	0.75%
0201 胃の悪性新生物	688	1.59%	38,626,560	1.71%	5,653	0.56%	13,051,095	0.84%	6,341	0.60%	51,677,655	1.35%
0202 結腸の悪性新生物	590	1.36%	32,848,056	1.45%	4,982	0.49%	16,433,221	1.06%	5,572	0.53%	49,281,277	1.29%
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	283	0.65%	17,857,824	0.79%	1,865	0.18%	6,837,168	0.44%	2,148	0.20%	24,694,992	0.65%
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	440	1.02%	21,717,592	0.96%	1,070	0.11%	3,685,039	0.24%	1,510	0.14%	25,402,631	0.67%
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	681	1.57%	36,425,966	1.61%	2,866	0.28%	11,912,294	0.77%	3,547	0.34%	48,338,260	1.27%
0206 乳房の悪性新生物	152	0.35%	8,091,181	0.36%	2,765	0.27%	8,270,570	0.53%	2,917	0.28%	16,361,751	0.43%
0207 子宮の悪性新生物	61	0.14%	3,316,071	0.15%	495	0.05%	1,407,442	0.09%	556	0.05%	4,723,513	0.12%
0208 悪性リンパ腫	206	0.48%	15,440,146	0.68%	963	0.09%	4,231,793	0.27%	1,169	0.11%	19,671,939	0.52%
0209 白血病	74	0.17%	7,164,400	0.32%	323	0.03%	1,718,000	0.11%	397	0.04%	8,882,400	0.23%
0210 その他の悪性新生物	1,953	4.51%	99,073,988	4.38%	14,945	1.47%	59,949,912	3.85%	16,898	1.60%	159,023,900	4.17%
0211 良性新生物及びその他の新生物	434	1.00%	21,147,936	0.94%	5,610	0.55%	11,776,387	0.76%	6,044	0.57%	32,924,323	0.86%
0301 貧血	191	0.44%	8,564,296	0.38%	2,233	0.22%	4,990,717	0.32%	2,424	0.23%	13,555,013	0.36%
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	110	0.25%	10,536,113	0.47%	1,014	0.10%	2,252,106	0.14%	1,124	0.11%	12,788,219	0.34%
0401 甲状腺障害	44	0.10%	2,475,717	0.11%	4,223	0.42%	5,831,578	0.37%	4,267	0.40%	8,307,295	0.22%
0402 糖尿病	980	2.26%	43,282,914	1.91%	48,692	4.80%	91,237,067	5.87%	49,672	4.69%	134,519,981	3.53%
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	549	1.27%	22,155,608	0.98%	42,440	4.18%	48,904,288	3.14%	42,989	4.06%	71,059,896	1.86%
0501 血管性及び詳細不明の認知症	868	2.00%	33,144,556	1.47%	4,424	0.44%	10,105,562	0.65%	5,292	0.50%	43,250,118	1.13%
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	64	0.15%	2,426,635	0.11%	302	0.03%	413,409	0.03%	366	0.03%	2,840,044	0.07%
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,067	2.46%	37,824,991	1.67%	3,360	0.33%	3,768,498	0.24%	4,427	0.42%	41,593,489	1.09%
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	360	0.83%	13,697,386	0.61%	9,654	0.95%	9,431,359	0.61%	10,014	0.95%	23,128,745	0.61%
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	47	0.11%	1,665,234	0.07%	6,787	0.67%	6,132,001	0.39%	6,834	0.65%	7,797,235	0.20%
0506 知的障害<精神遅滞>	5	0.01%	191,312	0.01%	14	0.00%	18,326	0.00%	19	0.00%	209,638	0.01%
0507 その他の精神及び行動の障害	242	0.56%	9,764,540	0.43%	2,302	0.23%	2,260,190	0.15%	2,544	0.24%	12,024,730	0.32%
0601 パーキンソン病	582	1.34%	30,162,439	1.33%	3,847	0.38%	6,965,544	0.45%	4,429	0.42%	37,127,983	0.97%
0602 アルツハイマー病	884	2.04%	33,375,155	1.48%	11,461	1.13%	24,092,835	1.55%	12,345	1.17%	57,467,990	1.51%
0603 てんかん	137	0.32%	6,111,973	0.27%	1,479	0.15%	2,037,328	0.13%	1,616	0.15%	8,149,301	0.21%
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	41	0.09%	2,392,040	0.11%	435	0.04%	713,950	0.05%	476	0.04%	3,105,990	0.08%
0605 自律神経系の障害	39	0.09%	2,195,297	0.10%	636	0.06%	728,436	0.05%	675	0.06%	2,923,733	0.08%
0606 その他の神経系の疾患	714	1.65%	33,428,592	1.48%	16,148	1.59%	20,082,405	1.29%	16,862	1.59%	53,510,997	1.40%
0701 結膜炎	3	0.01%	84,141	0.00%	6,389	0.63%	4,361,613	0.28%	6,392	0.60%	4,445,754	0.12%
0702 白内障	1,106	2.55%	33,874,184	1.50%	27,409	2.70%	27,312,289	1.76%	28,515	2.69%	61,186,473	1.60%
0703 屈折及び調整の障害	41	0.09%	1,360,686	0.06%	31,603	3.11%	31,115,205	2.00%	31,644	2.99%	32,475,891	0.85%
0704 その他の眼及び付属器の疾患	308	0.71%	11,829,166	0.52%	32,480	3.20%	31,670,939	2.04%	32,788	3.10%	43,500,105	1.14%
0801 外耳炎	0	0.00%	0	0.00%	1,072	0.11%	648,596	0.04%	1,072	0.10%	648,596	0.02%
0802 その他の外耳疾患	1	0.00%	24,707	0.00%	1,324	0.13%	873,976	0.06%	1,325	0.13%	898,683	0.02%
0803 中耳炎	8	0.02%	279,699	0.01%	2,244	0.22%	2,031,840	0.13%	2,252	0.21%	2,311,539	0.06%
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	7	0.02%	427,728	0.02%	1,430	0.14%	1,217,153	0.08%	1,437	0.14%	1,644,881	0.04%
0805 メニエール病	5	0.01%	49,977	0.00%	708	0.07%	637,578	0.04%	713	0.07%	687,555	0.02%
0806 その他の内耳疾患	82	0.19%	1,618,623	0.07%	631	0.06%	765,309	0.05%	713	0.07%	2,383,932	0.06%
0807 その他の耳疾患	31	0.07%	1,363,132	0.06%	3,501	0.34%	2,951,785	0.19%	3,532	0.33%	4,314,917	0.11%
0901 高血圧性疾患	975	2.25%	40,917,612	1.81%	195,035	19.21%	237,089,804	15.24%	196,010	18.51%	278,007,416	7.29%
0902 虚血性心疾患	1,366	3.15%	94,850,119	4.20%	25,913	2.55%	42,343,697	2.72%	27,279	2.58%	137,193,816	3.60%
0903 その他の心疾患	2,642	6.10%	173,477,990	7.67%	23,445	2.31%	40,388,663	2.60%	26,087	2.46%	213,866,653	5.60%
0904 くも膜下出血	271	0.63%	18,273,190	0.81%	630	0.06%	1,215,753	0.08%	901	0.09%	19,488,943	0.51%
0905 脳内出血	1,104	2.55%	60,799,189	2.69%	2,106	0.21%	4,244,629	0.27%	3,210	0.30%	65,043,818	1.70%
0906 脳梗塞	3,834	8.85%	211,646,901	9.36%	25,892	2.55%	42,135,082	2.71%	29,726	2.81%	253,781,983	6.65%
0907 脳動脈硬化(症)	9	0.02%	345,080	0.02%	347	0.03%	479,268	0.03%	356	0.03%	824,348	0.02%
0908 その他の脳血管疾患	400	0.92%	24,771,438	1.10%	3,977	0.39%	5,964,587	0.38%	4,377	0.41%	30,736,025	0.81%
0909 動脈硬化(症)	231	0.53%	16,126,488	0.71%	2,517	0.25%	3,971,139	0.26%	2,748	0.26%	20,097,627	0.53%

0910	痔核	61	0.14%	1,279,232	0.06%	2,639	0.26%	2,432,025	0.16%	2,700	0.26%	3,711,257	0.10%
0911	低血圧(症)	8	0.02%	568,138	0.03%	206	0.02%	321,721	0.02%	214	0.02%	889,859	0.02%
0912	その他の循環器系の疾患	477	1.10%	46,625,367	2.06%	4,512	0.44%	7,859,338	0.51%	4,989	0.47%	54,484,705	1.43%
1001	急性鼻咽頭炎(みず)〈感冒〉	0	0.00%	0	0.00%	585	0.06%	419,064	0.03%	585	0.06%	419,064	0.01%
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3	0.01%	33,419	0.00%	1,382	0.14%	918,259	0.06%	1,385	0.13%	951,678	0.02%
1003	その他の急性上気道感染症	14	0.03%	216,101	0.01%	5,249	0.52%	3,923,643	0.25%	5,263	0.50%	4,139,744	0.11%
1004	肺炎	1,974	4.56%	91,391,138	4.04%	1,049	0.10%	1,987,118	0.13%	3,023	0.29%	93,378,256	2.45%
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	48	0.11%	1,815,453	0.08%	1,683	0.17%	1,378,312	0.09%	1,731	0.16%	3,193,765	0.08%
1006	アレルギー性鼻炎	1	0.00%	11,423	0.00%	7,851	0.77%	5,497,776	0.35%	7,852	0.74%	5,509,199	0.14%
1007	慢性副鼻腔炎	22	0.05%	1,109,382	0.05%	3,796	0.37%	3,150,470	0.20%	3,818	0.36%	4,259,852	0.11%
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	22	0.05%	891,778	0.04%	860	0.08%	826,449	0.05%	882	0.08%	1,718,227	0.05%
1009	慢性閉塞性肺疾患	353	0.81%	16,510,277	0.73%	5,983	0.59%	15,646,065	1.01%	6,336	0.60%	32,156,342	0.84%
1010	喘息	152	0.35%	5,918,910	0.26%	10,336	1.02%	15,478,549	1.00%	10,488	0.99%	21,397,459	0.56%
1011	その他の呼吸器系の疾患	1,722	3.97%	90,494,467	4.00%	4,491	0.44%	13,301,492	0.86%	6,213	0.59%	103,795,959	2.72%
1101	う歯	1	0.00%	7,727	0.00%	1,543	0.15%	2,307,560	0.15%	1,544	0.15%	2,315,287	0.06%
1102	歯肉炎及び歯周疾患	5	0.01%	55,870	0.00%	36,332	3.58%	52,354,283	3.37%	36,337	3.43%	52,410,153	1.37%
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	8	0.02%	59,274	0.00%	5,131	0.51%	9,368,119	0.60%	5,139	0.49%	9,427,393	0.25%
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	287	0.66%	13,440,112	0.59%	10,322	1.02%	14,305,365	0.92%	10,609	1.00%	27,745,477	0.73%
1105	胃炎及び十二指腸炎	108	0.25%	3,775,231	0.17%	23,289	2.29%	28,318,681	1.82%	23,397	2.21%	32,093,912	0.84%
1106	アルコール性肝疾患	19	0.04%	730,919	0.03%	193	0.02%	356,033	0.02%	212	0.02%	1,086,952	0.03%
1107	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	16	0.04%	398,738	0.02%	1,388	0.14%	2,202,262	0.14%	1,404	0.13%	2,601,000	0.07%
1108	肝硬変(アルコール性のものを除く)	102	0.24%	4,324,528	0.19%	856	0.08%	1,942,791	0.12%	958	0.09%	6,267,319	0.16%
1109	その他の肝疾患	127	0.29%	6,725,234	0.30%	2,450	0.24%	3,636,238	0.23%	2,577	0.24%	10,361,472	0.27%
1110	胆石症及び胆のう炎	514	1.19%	29,416,706	1.30%	1,726	0.17%	2,729,843	0.18%	2,240	0.21%	32,146,549	0.84%
1111	膵疾患	73	0.17%	3,720,435	0.16%	644	0.06%	1,041,792	0.07%	717	0.07%	4,762,227	0.12%
1112	その他の消化器系の疾患	2,054	4.74%	84,313,509	3.73%	23,681	2.33%	29,218,589	1.88%	25,735	2.43%	113,532,098	2.98%
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	117	0.27%	4,034,677	0.18%	1,187	0.12%	1,016,893	0.07%	1,304	0.12%	5,051,570	0.13%
1202	皮膚炎及び湿疹	29	0.07%	1,143,402	0.05%	14,683	1.45%	8,935,301	0.57%	14,712	1.39%	10,078,703	0.26%
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	211	0.49%	10,593,551	0.47%	13,060	1.29%	9,588,007	0.62%	13,271	1.25%	20,181,558	0.53%
1301	炎症性多発性関節障害	221	0.51%	10,951,936	0.48%	7,820	0.77%	14,923,995	0.96%	8,041	0.76%	25,875,931	0.68%
1302	関節症	441	1.02%	38,514,727	1.70%	35,029	3.45%	44,255,068	2.85%	35,470	3.35%	82,769,795	2.17%
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	734	1.69%	38,607,053	1.71%	49,173	4.84%	59,359,789	3.82%	49,907	4.71%	97,966,842	2.57%
1304	椎間板障害	48	0.11%	2,533,248	0.11%	5,042	0.50%	6,316,494	0.41%	5,090	0.48%	8,849,742	0.23%
1305	頸腕症候群	3	0.01%	94,337	0.00%	1,183	0.12%	1,303,314	0.08%	1,186	0.11%	1,397,651	0.04%
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	64	0.15%	2,196,028	0.10%	5,377	0.53%	6,132,165	0.39%	5,441	0.51%	8,328,193	0.22%
1307	その他の脊椎障害	47	0.11%	3,877,589	0.17%	2,970	0.29%	3,495,953	0.22%	3,017	0.28%	7,373,542	0.19%
1308	肩の障害〈損傷〉	6	0.01%	144,117	0.01%	5,026	0.49%	5,823,834	0.37%	5,032	0.48%	5,967,951	0.16%
1309	骨の密度及び構造の障害	120	0.28%	5,197,969	0.23%	25,844	2.55%	30,117,480	1.94%	25,964	2.45%	35,315,449	0.93%
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	398	0.92%	22,376,401	0.99%	6,758	0.67%	8,881,821	0.57%	7,156	0.68%	31,258,222	0.82%
1401	糸球体疾患及び腎尿管細管性疾患	299	0.69%	12,440,772	0.55%	1,112	0.11%	2,723,214	0.18%	1,411	0.13%	15,163,986	0.40%
1402	腎不全	1,138	2.63%	68,852,466	3.05%	6,563	0.65%	154,428,193	9.93%	7,701	0.73%	223,280,659	5.85%
1403	尿路結石症	57	0.13%	2,068,309	0.09%	819	0.08%	1,345,493	0.09%	876	0.08%	3,413,802	0.09%
1404	その他の腎尿路系の疾患	338	0.78%	13,697,603	0.61%	6,656	0.66%	7,359,176	0.47%	6,994	0.66%	21,056,779	0.55%
1405	前立腺肥大(症)	138	0.32%	4,954,705	0.22%	19,124	1.88%	26,190,236	1.68%	19,262	1.82%	31,144,941	0.82%
1406	その他の男性生殖器系の疾患	25	0.06%	778,260	0.03%	432	0.04%	572,920	0.04%	457	0.04%	1,351,180	0.04%
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	0	0.00%	0	0.00%	336	0.03%	258,252	0.02%	336	0.03%	258,252	0.01%
1408	乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	45	0.10%	2,053,643	0.09%	2,201	0.22%	2,060,809	0.13%	2,246	0.21%	4,114,452	0.11%
1501	流産	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
1502	妊娠高血圧症候群	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
1503	単胎自然分娩	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく	1	0.00%	75,788	0.00%	11	0.00%	22,488	0.00%	12	0.00%	98,276	0.00%
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
1602	その他の周産期に発生した病態	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
1701	心臓の先天奇形	6	0.01%	596,049	0.03%	99	0.01%	231,804	0.01%	105	0.01%	827,853	0.02%
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	6	0.01%	565,561	0.03%	686	0.07%	942,455	0.06%	692	0.07%	1,508,016	0.04%
1800	症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	732	1.69%	31,100,371	1.38%	15,211	1.50%	23,011,259	1.48%	15,943	1.51%	54,111,630	1.42%
1901	骨折	3,096	7.15%	187,320,843	8.29%	8,653	0.85%	11,751,058	0.76%	11,749	1.11%	199,071,901	5.22%
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	365	0.84%	22,645,215	1.00%	481	0.05%	1,044,904	0.07%	846	0.08%	23,690,119	0.62%
1903	熱傷及び腐食	19	0.04%	1,256,724	0.06%	233	0.02%	210,464	0.01%	252	0.02%	1,467,188	0.04%
1904	中毒	12	0.03%	516,265	0.02%	181	0.02%	131,391	0.01%	193	0.02%	647,656	0.02%
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	704	1.62%	35,029,401	1.55%	13,968	1.38%	17,895,073	1.15%	14,672	1.39%	52,924,474	1.39%
	合計(神奈川県)	43,326	100%	2,260,739,480	100%	1,015,450	100%	1,555,358,158	100%	1,058,776	100%	3,816,097,638	100%

平成23年度 疾病分類統計(平成23年5月診療分) 入院・入院外・合計

疾病分類(全国)	入院				入院外(通院)				合計			
	件数	構成比	点数	構成比	件数	構成比	点数	構成比	件数	構成比	点数	構成比
0101 腸管感染症	3,840	0.38%	124,862,399	0.25%	27,199	0.13%	32,521,091	0.10%	31,039	0.15%	157,383,490	0.19%
0102 結核	2,471	0.25%	114,065,348	0.23%	8,684	0.04%	18,731,963	0.06%	11,155	0.05%	132,797,311	0.16%
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	112	0.01%	4,214,309	0.01%	1,559	0.01%	2,977,621	0.01%	1,671	0.01%	7,191,930	0.01%
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	1,643	0.16%	50,990,301	0.10%	47,666	0.24%	47,272,977	0.14%	49,309	0.23%	98,263,278	0.12%
0105 ウイルス肝炎	2,976	0.30%	127,051,784	0.25%	100,724	0.50%	249,171,798	0.74%	103,700	0.49%	376,223,582	0.45%
0106 その他のウイルス疾患	283	0.03%	15,554,544	0.03%	1,364	0.01%	4,827,385	0.01%	1,647	0.01%	20,381,929	0.02%
0107 真菌症	840	0.08%	58,850,416	0.12%	109,951	0.54%	73,779,106	0.22%	110,791	0.52%	132,629,522	0.16%
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	582	0.06%	27,710,165	0.06%	8,545	0.04%	27,423,139	0.08%	9,127	0.04%	55,133,304	0.07%
0109 その他の感染症及び寄生虫症	5,143	0.51%	385,967,351	0.77%	14,806	0.07%	24,953,365	0.07%	19,949	0.09%	410,920,716	0.49%
0201 胃の悪性新生物	13,478	1.34%	770,133,702	1.54%	98,070	0.49%	231,138,308	0.68%	111,548	0.53%	1,001,272,010	1.19%
0202 結腸の悪性新生物	11,125	1.11%	612,209,983	1.22%	77,915	0.39%	248,553,263	0.73%	89,040	0.42%	860,763,246	1.03%
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	5,018	0.50%	316,318,153	0.63%	30,063	0.15%	106,356,506	0.31%	35,081	0.17%	422,674,659	0.50%
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	8,242	0.82%	425,103,421	0.85%	20,581	0.10%	75,060,240	0.22%	28,823	0.14%	500,163,661	0.60%
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物	13,884	1.38%	760,443,964	1.52%	51,577	0.26%	231,365,584	0.68%	65,461	0.31%	991,809,548	1.18%
0206 乳房の悪性新生物	2,681	0.27%	130,575,311	0.26%	42,506	0.21%	129,918,346	0.38%	45,187	0.21%	260,493,657	0.31%
0207 子宮の悪性新生物	1,216	0.12%	64,890,063	0.13%	8,829	0.04%	22,137,789	0.07%	10,045	0.05%	87,027,852	0.10%
0208 悪性リンパ腫	3,999	0.40%	326,841,150	0.65%	17,169	0.09%	78,969,346	0.23%	21,168	0.10%	405,810,496	0.48%
0209 白血病	1,421	0.14%	145,277,128	0.29%	5,871	0.03%	32,188,128	0.10%	7,292	0.03%	177,465,256	0.21%
0210 その他の悪性新生物	38,064	3.78%	2,000,979,690	4.00%	248,123	1.23%	1,028,802,430	3.04%	286,187	1.35%	3,029,782,120	3.61%
0211 良性新生物及びその他の新生物	8,320	0.83%	406,274,127	0.81%	92,254	0.46%	203,023,597	0.60%	100,574	0.47%	609,297,724	0.73%
0301 貧血	5,377	0.53%	264,972,486	0.53%	39,593	0.20%	96,073,000	0.28%	44,970	0.21%	361,045,486	0.43%
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,335	0.23%	210,034,229	0.42%	17,282	0.09%	40,992,897	0.12%	19,617	0.09%	251,027,126	0.30%
0401 甲状腺障害	1,412	0.14%	59,854,481	0.12%	87,123	0.43%	134,026,644	0.40%	88,535	0.42%	193,881,125	0.23%
0402 糖尿病	31,721	3.15%	1,359,469,995	2.72%	943,069	4.67%	2,067,691,505	6.11%	974,790	4.60%	3,427,161,500	4.09%
0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	13,502	1.34%	556,108,686	1.11%	746,877	3.70%	1,041,258,581	3.08%	760,379	3.59%	1,597,367,267	1.91%
0501 血管性及び詳細不明の認知症	24,770	2.46%	937,317,980	1.87%	90,268	0.45%	195,567,632	0.58%	115,038	0.54%	1,132,885,612	1.35%
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	2,147	0.21%	74,729,703	0.15%	5,020	0.02%	9,988,679	0.03%	7,167	0.03%	84,718,382	0.10%
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	32,401	3.22%	1,143,225,041	2.29%	53,488	0.26%	85,651,688	0.25%	85,889	0.41%	1,228,876,729	1.47%
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	10,253	1.02%	379,517,207	0.76%	155,833	0.77%	170,814,471	0.50%	166,086	0.78%	550,331,678	0.66%
0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2,066	0.21%	71,781,946	0.14%	103,370	0.51%	106,084,315	0.31%	105,436	0.50%	177,866,261	0.21%
0506 知的障害<精神遅滞>	786	0.08%	27,967,735	0.06%	1,053	0.01%	1,145,325	0.00%	1,839	0.01%	29,113,060	0.03%
0507 その他の精神及び行動の障害	6,879	0.68%	265,717,716	0.53%	31,270	0.15%	45,510,878	0.13%	38,149	0.18%	311,228,594	0.37%
0601 パーキンソン病	16,323	1.62%	859,624,253	1.72%	74,822	0.37%	142,958,180	0.42%	91,145	0.43%	1,002,582,433	1.20%
0602 アルツハイマー病	25,156	2.50%	936,039,817	1.87%	199,040	0.99%	389,906,246	1.15%	224,196	1.06%	1,325,946,063	1.58%
0603 てんかん	3,959	0.39%	178,186,155	0.36%	28,533	0.14%	40,505,373	0.12%	32,492	0.15%	218,691,528	0.26%
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	1,898	0.19%	100,720,373	0.20%	10,624	0.05%	19,305,204	0.06%	12,522	0.06%	120,025,577	0.14%
0605 自律神経系の障害	1,046	0.10%	54,196,414	0.11%	16,647	0.08%	22,524,394	0.07%	17,693	0.08%	76,720,808	0.09%
0606 その他の神経系の疾患	16,906	1.68%	860,240,585	1.72%	269,218	1.33%	378,873,504	1.12%	286,124	1.35%	1,239,114,089	1.48%
0701 結膜炎	295	0.03%	9,637,555	0.02%	147,623	0.73%	104,174,921	0.31%	147,918	0.70%	113,812,476	0.14%
0702 白内障	16,721	1.66%	505,897,559	1.01%	579,808	2.87%	552,126,596	1.63%	596,529	2.81%	1,058,024,155	1.26%
0703 屈折及び調整の障害	2,374	0.24%	63,798,746	0.13%	524,250	2.60%	515,401,906	1.52%	526,624	2.48%	579,200,652	0.69%
0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,237	0.62%	239,797,709	0.48%	712,571	3.53%	695,052,861	2.05%	718,808	3.39%	934,850,570	1.12%
0801 外耳炎	11	0.00%	364,128	0.00%	25,617	0.13%	16,719,939	0.05%	25,628	0.12%	17,084,067	0.02%
0802 その他の外耳疾患	10	0.00%	488,374	0.00%	21,408	0.11%	14,071,414	0.04%	21,418	0.10%	14,559,788	0.02%
0803 中耳炎	98	0.01%	4,067,959	0.01%	49,949	0.25%	45,972,951	0.14%	50,047	0.24%	50,040,910	0.06%
0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患	74	0.01%	3,541,784	0.01%	20,047	0.10%	17,327,894	0.05%	20,121	0.09%	20,869,678	0.02%
0805 メニエール病	361	0.04%	8,048,230	0.02%	21,740	0.11%	24,317,410	0.07%	22,101	0.10%	32,365,640	0.04%
0806 その他の内耳疾患	1,376	0.14%	28,137,143	0.06%	10,860	0.05%	13,145,705	0.04%	12,236	0.06%	41,282,848	0.05%
0807 その他の耳疾患	416	0.04%	14,505,428	0.03%	68,896	0.34%	59,010,485	0.17%	69,312	0.33%	73,515,913	0.09%
0901 高血圧性疾患	38,151	3.79%	1,422,337,950	2.84%	4,102,941	20.31%	5,883,968,552	17.39%	4,141,092	19.53%	7,306,306,502	8.71%
0902 虚血性心疾患	26,910	2.67%	1,823,752,040	3.65%	504,804	2.50%	913,011,527	2.70%	531,714	2.51%	2,736,763,567	3.26%
0903 その他の心疾患	60,096	5.97%	3,515,784,458	7.03%	505,513	2.50%	930,697,335	2.75%	565,609	2.67%	4,446,481,793	5.30%
0904 くも膜下出血	5,847	0.58%	405,220,931	0.81%	13,001	0.06%	22,614,289	0.07%	18,848	0.09%	427,835,220	0.51%
0905 脳内出血	23,739	2.36%	1,338,814,556	2.68%	55,270	0.27%	104,927,464	0.31%	79,009	0.37%	1,443,742,020	1.72%
0906 脳梗塞	87,231	8.67%	4,687,291,023	9.37%	617,011	3.05%	1,030,089,491	3.04%	704,242	3.32%	5,717,380,514	6.82%
0907 脳動脈硬化(症)	189	0.02%	9,304,455	0.02%	6,759	0.03%	10,267,681	0.03%	6,948	0.03%	19,572,136	0.02%
0908 その他の脳血管疾患	8,744	0.87%	497,401,361	0.99%	85,480	0.42%	142,849,494	0.42%	94,224	0.44%	640,250,855	0.76%
0909 動脈硬化(症)	4,159	0.41%	289,257,413	0.58%	50,000	0.25%	77,649,841	0.23%	54,159	0.26%	366,907,254	0.44%

0910	痔核	1,392	0.14%	27,883,815	0.06%	40,861	0.20%	39,799,704	0.12%	42,253	0.20%	67,683,519	0.08%
0911	低血圧(症)	302	0.03%	10,152,618	0.02%	4,319	0.02%	6,236,955	0.02%	4,621	0.02%	16,389,573	0.02%
0912	その他の循環器系の疾患	8,101	0.81%	736,140,327	1.47%	64,288	0.32%	119,038,120	0.35%	72,389	0.34%	855,178,447	1.02%
1001	急性鼻咽頭炎(かぜ)〈感冒〉	59	0.01%	1,816,852	0.00%	12,042	0.06%	9,064,495	0.03%	12,101	0.06%	10,881,347	0.01%
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	111	0.01%	3,651,471	0.01%	18,946	0.09%	14,877,928	0.04%	19,057	0.09%	18,529,399	0.02%
1003	その他の急性上気道感染症	354	0.04%	9,237,551	0.02%	82,302	0.41%	67,076,916	0.20%	82,656	0.39%	76,314,467	0.09%
1004	肺炎	42,661	4.24%	1,898,319,370	3.80%	20,776	0.10%	42,650,193	0.13%	63,437	0.30%	1,940,969,563	2.32%
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,759	0.17%	58,382,780	0.12%	38,615	0.19%	37,063,400	0.11%	40,374	0.19%	95,446,180	0.11%
1006	アレルギー性鼻炎	103	0.01%	4,325,121	0.01%	103,306	0.51%	81,066,794	0.24%	103,409	0.49%	85,391,915	0.10%
1007	慢性副鼻腔炎	257	0.03%	11,573,669	0.02%	59,917	0.30%	53,758,285	0.16%	60,174	0.28%	65,331,954	0.08%
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	688	0.07%	24,393,828	0.05%	18,108	0.09%	21,326,027	0.06%	18,796	0.09%	45,719,855	0.05%
1009	慢性閉塞性肺疾患	9,536	0.95%	443,717,529	0.89%	122,579	0.61%	351,626,183	1.04%	132,115	0.62%	795,343,712	0.95%
1010	喘息	5,307	0.53%	204,813,244	0.41%	186,682	0.92%	350,524,731	1.04%	191,989	0.91%	555,337,975	0.66%
1011	その他の呼吸器系の疾患	31,877	3.17%	1,692,555,797	3.39%	77,479	0.38%	228,427,251	0.68%	109,356	0.52%	1,920,983,048	2.29%
1101	う歯	215	0.02%	8,206,865	0.02%	360,602	1.79%	609,762,701	1.80%	360,817	1.70%	617,969,566	0.74%
1102	歯肉炎及び歯周疾患	179	0.02%	4,136,271	0.01%	882,717	4.37%	1,264,396,539	3.74%	882,896	4.16%	1,268,532,810	1.51%
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	636	0.06%	16,762,650	0.03%	499,524	2.47%	858,691,270	2.54%	500,160	2.36%	875,453,920	1.04%
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	7,266	0.72%	312,759,537	0.63%	217,954	1.08%	329,030,847	0.97%	225,220	1.06%	641,790,384	0.77%
1105	胃炎及び十二指腸炎	3,571	0.35%	112,852,393	0.23%	415,931	2.06%	594,647,950	1.76%	419,502	1.98%	707,500,343	0.84%
1106	アルコール性肝疾患	386	0.04%	15,888,256	0.03%	4,227	0.02%	8,380,365	0.02%	4,613	0.02%	24,268,621	0.03%
1107	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	647	0.06%	22,510,074	0.05%	38,683	0.19%	72,869,437	0.22%	39,330	0.19%	95,379,511	0.11%
1108	肝硬変(アルコール性のものを除く)	2,170	0.22%	93,834,143	0.19%	15,829	0.08%	39,004,385	0.12%	17,999	0.08%	132,838,528	0.16%
1109	その他の肝疾患	2,709	0.27%	126,034,862	0.25%	40,978	0.20%	70,595,589	0.21%	43,687	0.21%	196,630,451	0.23%
1110	胆石症及び胆のう炎	9,813	0.98%	531,417,969	1.06%	29,142	0.14%	48,957,323	0.14%	38,955	0.18%	580,375,292	0.69%
1111	膵疾患	1,610	0.16%	78,968,104	0.16%	15,168	0.08%	28,339,308	0.08%	16,778	0.08%	107,307,412	0.13%
1112	その他の消化器系の疾患	39,060	3.88%	1,554,340,786	3.11%	374,078	1.85%	493,292,028	1.46%	413,138	1.95%	2,047,632,814	2.44%
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	2,376	0.24%	84,773,212	0.17%	22,076	0.11%	20,980,095	0.06%	24,452	0.12%	105,753,307	0.13%
1202	皮膚炎及び湿疹	635	0.06%	25,508,940	0.05%	279,013	1.38%	174,165,909	0.51%	279,648	1.32%	199,674,849	0.24%
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	5,433	0.54%	267,521,847	0.54%	207,315	1.03%	160,874,905	0.48%	212,748	1.00%	428,396,752	0.51%
1301	炎症性多発性関節障害	6,170	0.61%	279,337,755	0.56%	154,234	0.76%	336,005,688	0.99%	160,404	0.76%	615,343,443	0.73%
1302	関節症	12,614	1.25%	885,726,922	1.77%	671,022	3.32%	934,668,335	2.76%	683,636	3.22%	1,820,395,257	2.17%
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	16,646	1.65%	809,192,796	1.62%	747,590	3.70%	1,036,947,175	3.06%	764,236	3.60%	1,846,139,971	2.20%
1304	椎間板障害	1,156	0.11%	52,351,334	0.10%	84,958	0.42%	119,951,815	0.35%	86,114	0.41%	172,303,149	0.21%
1305	頸腕症候群	172	0.02%	4,719,415	0.01%	37,380	0.19%	46,871,271	0.14%	37,552	0.18%	51,590,686	0.06%
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	2,697	0.27%	89,667,333	0.18%	160,719	0.80%	206,595,830	0.61%	163,416	0.77%	296,263,163	0.35%
1307	その他の脊椎障害	1,211	0.12%	79,244,517	0.16%	58,014	0.29%	78,675,281	0.23%	59,225	0.28%	157,919,798	0.19%
1308	型の障害〈損傷〉	480	0.05%	17,912,708	0.04%	102,471	0.51%	135,567,198	0.40%	102,951	0.49%	153,479,906	0.18%
1309	骨の密度及び構造の障害	5,063	0.50%	192,981,622	0.39%	366,170	1.81%	476,918,512	1.41%	371,233	1.75%	669,900,134	0.80%
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	12,037	1.20%	622,800,644	1.25%	128,714	0.64%	183,225,615	0.54%	140,751	0.66%	806,026,259	0.96%
1401	糸球体疾患及び腎尿管細管性疾患	6,212	0.62%	256,288,376	0.51%	22,876	0.11%	70,722,491	0.21%	29,088	0.14%	327,010,867	0.39%
1402	腎不全	24,979	2.48%	1,525,229,390	3.05%	119,653	0.59%	3,191,772,380	9.43%	144,632	0.68%	4,717,001,770	5.63%
1403	尿路結石症	1,451	0.14%	50,932,724	0.10%	14,842	0.07%	26,939,591	0.08%	16,293	0.08%	77,872,315	0.09%
1404	その他の腎尿路系の疾患	7,087	0.70%	277,253,995	0.55%	134,475	0.67%	173,691,170	0.51%	141,562	0.67%	450,945,165	0.54%
1405	前立腺肥大(症)	3,244	0.32%	120,608,566	0.24%	288,226	1.43%	438,279,710	1.30%	291,470	1.37%	558,888,276	0.67%
1406	その他の男性生殖器系の疾患	535	0.05%	14,945,121	0.03%	9,442	0.05%	13,954,281	0.04%	9,977	0.05%	28,899,402	0.03%
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	17	0.00%	652,185	0.00%	8,056	0.04%	6,247,667	0.02%	8,073	0.04%	6,899,852	0.01%
1408	乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	794	0.08%	34,294,346	0.07%	33,127	0.16%	31,919,378	0.09%	33,921	0.16%	66,213,724	0.08%
1501	流産	0	0.00%	0	0.00%	8	0.00%	6,876	0.00%	8	0.00%	6,876	0.00%
1502	妊娠高血圧症候群	1	0.00%	8,795	0.00%	2	0.00%	1,632	0.00%	3	0.00%	10,427	0.00%
1503	単胎自然分娩	0	0.00%	0	0.00%	2	0.00%	3,778	0.00%	2	0.00%	3,778	0.00%
1504	その他の妊娠、分娩及び産後	3	0.00%	159,390	0.00%	107	0.00%	224,988	0.00%	110	0.00%	384,378	0.00%
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	0	0.00%	0	0.00%	2	0.00%	1,343	0.00%	2	0.00%	1,343	0.00%
1602	その他の周産期に発生した病態	4	0.00%	223,951	0.00%	17	0.00%	19,186	0.00%	21	0.00%	243,137	0.00%
1701	心臓の先天奇形	78	0.01%	6,284,128	0.01%	1,750	0.01%	3,428,873	0.01%	1,828	0.01%	9,713,001	0.01%
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	457	0.05%	29,748,713	0.06%	13,121	0.06%	23,048,318	0.07%	13,578	0.06%	52,797,031	0.06%
1800	症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	19,164	1.90%	828,271,256	1.66%	286,393	1.42%	408,958,893	1.21%	305,557	1.44%	1,237,230,149	1.48%
1901	骨折	67,570	6.72%	3,852,847,001	7.71%	159,582	0.79%	236,462,687	0.70%	227,152	1.07%	4,089,309,688	4.88%
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,549	0.75%	431,204,492	0.86%	9,007	0.04%	16,873,601	0.05%	16,556	0.08%	448,078,093	0.53%
1903	熱傷及び腐食	610	0.06%	42,089,593	0.08%	4,995	0.02%	5,944,340	0.02%	5,605	0.03%	48,033,933	0.06%
1904	中毒	474	0.05%	15,579,576	0.03%	4,599	0.02%	3,296,478	0.01%	5,073	0.02%	18,876,054	0.02%
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	21,202	2.11%	1,022,956,306	2.05%	312,177	1.55%	401,150,317	1.19%	333,379	1.57%	1,424,106,623	1.70%
	合計(全国)	1,006,204	100%	50,001,459,744	100%	20,197,322	100%	33,836,348,585	100%	21,203,526	100%	83,837,808,329	100%

(医科分)電子レセプトのデータに基づく  
神奈川県後期高齢者医療制度の  
疾病および医療費の状況に関する資料

## この資料作成に利用したデータについて

(1) この資料は、平成23年5月診療分・平成22年5月診療分・平成21年5月診療分のうち、  
医科の電子レセプトで請求された分を対象としています。(国保中央会のデータ)

① 診療報酬明細書は、平成23年4月から、原則、電子レセプトに変更されました。

(ただし、医師・歯科医師・薬剤師がすべて65歳以上の医療機関やレセプトコンピュータを使用していない場合には、紙の請求を可能とする例外規定が設けられました。)

② 電子レセプト請求普及状況(件数ベース)

- ・ 全国 (社会保険診療報酬支払基金調べ) ..... 医科 94.3 % (平成23年12月分)
- ・ 神奈川県国保連合会受付分 ..... 医科 90.67% (平成24年 3月分)

※神奈川県は、電子レセプトで請求する病院が、約80%で、全国平均の82.6%より低くなっています。

・H22年10月 神奈川県の施設数 : 病院343、一般診療所6,407(うち有床診療所332)

(2) 各都道府県の国民健康保険団体連合会で、119疾病に分類し、さらに、19の疾病群に大分類。一部表現を変更しています。(新生物→悪性新生物など。グラフでは簡素化した部分があります。)

(3) レセプト毎の疾病の分類は、医療機関が、「主な疾病」(主病疾病)として記載したもののみを抽出しています。複数の疾病が記載されている場合は、「主な疾病」のみ抽出されます。総合病院で、複数の診療科を受診した場合、レセプトは1枚となり、1つの疾病のみの抽出となります。

# (入院 + 外来) 19 疾病分類別のレセプト件数と医療費 (10割分)

19疾病分類	(主な病名)	H23年5月分電子レセプト件数と構成比				H23年5月分医療費(10割分)と構成比(単位:円)				レセプト1件当たりの医療費		
		神奈川県		全国		神奈川県		全国		神奈川県	全国	
1	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、ウイルス肝炎	18,539	1.8%	338,388	1.6%	689,141,270	1.8%	13,909,250,620	1.7%	37,173	41,104
2	悪性新生物	悪性新生物(がん)、白血病	47,099	4.4%	800,406	3.8%	4,409,826,410	11.6%	83,465,602,290	10.0%	93,629	104,279
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血	3,548	0.3%	64,587	0.3%	263,432,320	0.7%	6,120,726,120	0.7%	74,248	94,767
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病、甲状腺障害	96,928	9.2%	1,823,704	8.6%	2,138,871,720	5.6%	52,184,098,920	6.2%	22,067	28,614
5	精神及び行動の障害	認知症、統合失調症、気分障害	29,496	2.8%	519,604	2.5%	1,308,439,990	3.4%	35,150,203,160	4.2%	44,360	67,648
6	神経系の疾患	アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかん	36,403	3.4%	664,172	3.1%	1,622,859,940	4.3%	39,830,804,980	4.8%	44,580	59,971
7	眼及び付属器の疾患	白内障、	99,339	9.4%	1,989,879	9.4%	1,416,082,230	3.7%	26,858,878,530	3.2%	14,255	13,498
8	耳及び乳様突起の疾患	メニエール病	11,044	1.0%	220,863	1.0%	128,901,030	0.3%	2,497,188,440	0.3%	11,672	11,307
9	循環器系の疾患	高血圧性疾患、脳梗塞、虚血性心疾患、脳内出血	298,597	28.2%	6,315,108	29.8%	10,781,264,500	28.3%	240,444,914,000	28.7%	36,106	38,075
10	呼吸器系の疾患	喘息、アレルギー性鼻炎、慢性閉塞性肺疾患、	47,576	4.5%	833,464	3.9%	2,709,195,450	7.1%	56,102,494,150	6.7%	56,945	67,312
11	消化器系の疾患	胃炎、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、肝炎、膵炎、胆石症	110,869	10.5%	2,963,095	14.0%	2,947,498,390	7.7%	72,956,796,520	8.7%	26,585	24,622
12	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚炎、湿疹	29,287	2.8%	516,848	2.4%	353,118,310	0.9%	7,338,249,080	0.9%	12,057	14,198
13	筋骨格系及び接合組織の疾患	脊椎障害、関節症、腰痛症	146,304	13.8%	2,569,518	12.1%	3,051,033,180	8.0%	65,893,617,660	7.9%	20,854	25,644
14	腎尿路生殖器系の疾患	前立腺肥大、腎不全、尿路結石症	39,283	3.7%	675,016	3.2%	2,997,840,510	7.9%	62,337,313,710	7.4%	76,314	92,349
15	妊婦、分娩及び産じょく		12	0.0%	123	0.0%	982,760	0.0%	4,054,590	0.0%	81,897	32,964
16	周産期に発生した病態		0	0.0%	23	0.0%	0	0.0%	2,444,800	0.0%	0	106,296
17	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形	797	0.1%	15,406	0.1%	23,358,690	0.1%	625,100,320	0.1%	29,308	40,575
18	症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの		15,943	1.5%	305,557	1.4%	541,116,300	1.4%	12,372,301,490	1.5%	33,941	40,491
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、頭蓋内損傷、内臓損傷、熱傷、中毒	27,712	2.6%	587,765	2.8%	2,778,013,380	7.3%	60,284,043,910	7.2%	100,246	102,565
合計			1,058,776	100%	21,203,526	100%	38,160,976,380	100%	838,378,083,290	100%	36,043	39,540
平成23年5月末の被保険者数 (受診者数)			790,943人 (639,340人)		14,383,598人 (11,377,536人)		上位の5疾病		6位から10位の疾病			

# (H23年5月分 入院) 19 疾病分類別のレセプト件数と医療費 (10割分)

19疾病分類 (主な病名)		H23年5月分電子レセプト件数と構成比				H23年5月分医療費(10割分)と構成比(単位:円)				レセプト1件当たりの医療費		
		神奈川県		全国		神奈川県		全国		神奈川県	全国	
1	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、ウイルス肝炎	825	1.9%	17,890	1.8%	454,645,340	2.0%	9,092,666,170	1.8%	551,085	508,254
2	悪性新生物	悪性新生物(がん)、白血病	5,562	12.8%	107,448	10.7%	3,017,097,200	13.3%	59,590,466,920	11.9%	542,448	554,598
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血	301	0.7%	7,712	0.8%	191,004,090	0.8%	4,750,067,150	0.9%	634,565	615,932
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病、甲状腺障害	1,573	3.6%	46,635	4.6%	679,142,390	3.0%	19,754,331,620	4.0%	431,750	423,595
5	精神及び行動の障害	認知症、統合失調症、気分障害	2,653	6.1%	79,302	7.9%	987,146,540	4.4%	29,002,573,280	5.8%	372,087	365,723
6	神経系の疾患	アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかん	2,397	5.5%	65,288	6.5%	1,076,654,960	4.8%	29,890,075,970	6.0%	449,168	457,819
7	眼及び付属器の疾患	白内障、	1,458	3.4%	25,627	2.5%	471,481,770	2.1%	8,191,315,690	1.6%	323,376	319,636
8	耳及び乳様突起の疾患	メニエール病	134	0.3%	2,346	0.2%	37,638,660	0.2%	591,530,460	0.1%	280,886	252,144
9	循環器系の疾患	高血圧性疾患、脳梗塞、虚血性心疾患、脳内出血	11,378	26.3%	264,861	26.3%	6,896,807,440	30.5%	147,633,409,470	29.5%	606,153	557,400
10	呼吸器系の疾患	喘息、アレルギー性鼻炎、慢性閉塞性肺疾患、	4,311	10.0%	92,712	9.2%	2,083,923,480	9.2%	43,527,872,120	8.7%	483,397	469,496
11	消化器系の疾患	胃炎、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、肝炎、膵炎、胆石症	3,314	7.6%	68,262	6.8%	1,469,682,830	6.5%	28,777,119,100	5.8%	443,477	421,569
12	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚炎、湿疹	357	0.8%	8,444	0.8%	157,716,300	0.7%	3,778,039,990	0.8%	441,782	447,423
13	筋骨格系及び接合組織の疾患	脊椎障害、関節症、腰痛症	2,082	4.8%	58,246	5.8%	1,244,934,050	5.5%	30,339,350,460	6.1%	597,951	520,883
14	腎尿路生殖器系の疾患	前立腺肥大、腎不全、尿路結石症	2,040	4.7%	44,319	4.4%	1,048,457,580	4.6%	22,802,047,030	4.6%	513,950	514,498
15	妊婦、分娩及び産じょく		1	0.0%	4	0.0%	757,880	0.0%	1,681,850	0.0%	757,880	420,463
16	周産期に発生した病態		0	0.0%	4	0.0%	0	0.0%	2,239,510	0.0%	0	559,878
17	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形	12	0.0%	535	0.1%	11,616,100	0.1%	360,328,410	0.1%	968,008	673,511
18	症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの		732	1.7%	19,164	1.9%	311,003,710	1.4%	8,282,712,560	1.7%	424,868	432,202
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折(県3096件、全67570件)、頭蓋内損傷、内臓損傷、熱傷、中毒	4,196	9.7%	97,405	9.7%	2,467,684,480	10.9%	53,646,769,680	10.7%	588,104	550,760
合 計			43,326	100%	1,006,204	100%	22,607,394,800	100%	500,014,597,440	100%	521,797	496,932
平成23年5月末の被保険者数			790,943人		14,383,598人		上位の5疾病		6位から10位の疾病			

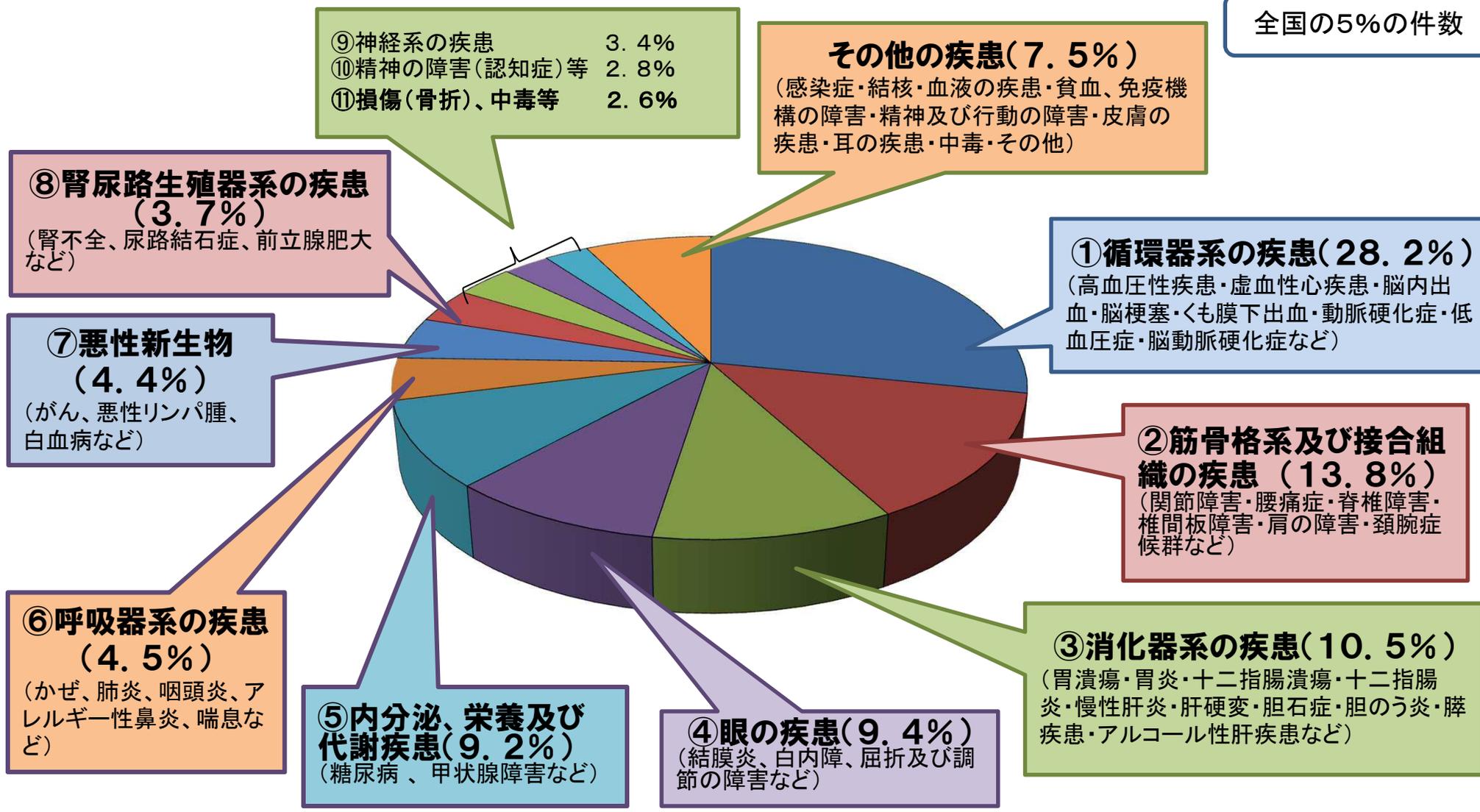
# (H23年5月分 外来 ) 19 疾病分類別のレセプト件数と医療費 (10割分)

19疾病分類		(主な病名)	H23年5月分電子レセプト件数と構成比				H23年5月分医療費(10割分)と構成比(単位:円)				レセプト1件当たりの医療費	
			神奈川県		全国		神奈川県		全国		神奈川県	全国
1	感染症及び寄生虫症	腸管感染症、結核、ウイルス肝炎	17,714	1.7%	320,498	1.6%	234,495,930	1.5%	4,816,584,450	1.4%	13,238	15,028
2	悪性新生物	悪性新生物(がん)、白血病	41,537	4.1%	692,958	3.4%	1,392,729,210	9.0%	23,875,135,370	7.1%	33,530	34,454
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血	3,247	0.3%	56,875	0.3%	72,428,230	0.5%	1,370,658,970	0.4%	22,306	24,099
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病、甲状腺障害	95,355	9.4%	1,777,069	8.8%	1,459,729,330	9.4%	32,429,767,300	9.6%	15,308	18,249
5	精神及び行動の障害	認知症、統合失調症、気分障害	26,843	2.6%	440,302	2.2%	321,293,450	2.1%	6,147,629,880	1.8%	11,969	13,962
6	神経系の疾患	アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかん	34,006	3.3%	598,884	3.0%	546,204,980	3.5%	9,940,729,010	2.9%	16,062	16,599
7	眼及び付属器の疾患	白内障、	97,881	9.6%	1,964,252	9.7%	944,600,460	6.1%	18,667,562,840	5.5%	9,650	9,504
8	耳及び乳様突起の疾患	メニエール病	10,910	1.1%	218,517	1.1%	91,262,370	0.6%	1,905,657,980	0.6%	8,365	8,721
9	循環器系の疾患	高血圧性疾患、脳梗塞、虚血性心疾患、脳内出血	287,219	28.3%	6,050,247	30.0%	3,884,457,060	25.0%	92,811,504,530	27.4%	13,524	15,340
10	呼吸器系の疾患	喘息、アレルギー性鼻炎、慢性閉塞性肺疾患、	43,265	4.3%	740,752	3.7%	625,271,970	4.0%	12,574,622,030	3.7%	14,452	16,975
11	消化器系の疾患	胃炎、十二指腸潰瘍、胃潰瘍、肝炎、膵炎、胆石症	107,555	10.6%	2,894,833	14.3%	1,477,815,560	9.5%	44,179,677,420	13.1%	13,740	15,262
12	皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚炎、湿疹	28,930	2.8%	508,404	2.5%	195,402,010	1.3%	3,560,209,090	1.1%	6,754	7,003
13	筋骨格系及び接合組織の疾患	脊椎障害、関節症、腰痛症	144,222	14.2%	2,511,272	12.4%	1,806,099,130	11.6%	35,554,267,200	10.5%	12,523	14,158
14	腎尿路生殖器系の疾患	前立腺肥大、腎不全、尿路結石症	37,243	3.7%	630,697	3.1%	1,949,382,930	12.5%	39,535,266,680	11.7%	52,342	62,685
15	妊婦、分娩及び産じょく		11	0.0%	119	0.0%	224,880	0.0%	2,372,740	0.0%	20,444	19,939
16	周産期に発生した病態		0	0.0%	19	0.0%	0	0.0%	205,290	0.0%	0	10,805
17	先天奇形、変形及び染色体異常	心臓の先天奇形	785	0.1%	14,871	0.1%	11,742,590	0.1%	264,771,910	0.1%	14,959	17,805
18	症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの		15,211	1.5%	286,393	1.4%	230,112,590	1.5%	4,089,588,930	1.2%	15,128	14,280
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、頭蓋内損傷、内臓損傷、熱傷、中毒	23,516	2.3%	490,360	2.4%	310,328,900	2.0%	6,637,274,230	2.0%	13,197	13,536
合 計			1,015,450	100%	20,197,322	100%	15,553,581,580	100%	338,363,485,850	100%	15,317	16,753
平成23年5月末の被保険者数			790,943人		14,383,598人							

# (神奈川県分)

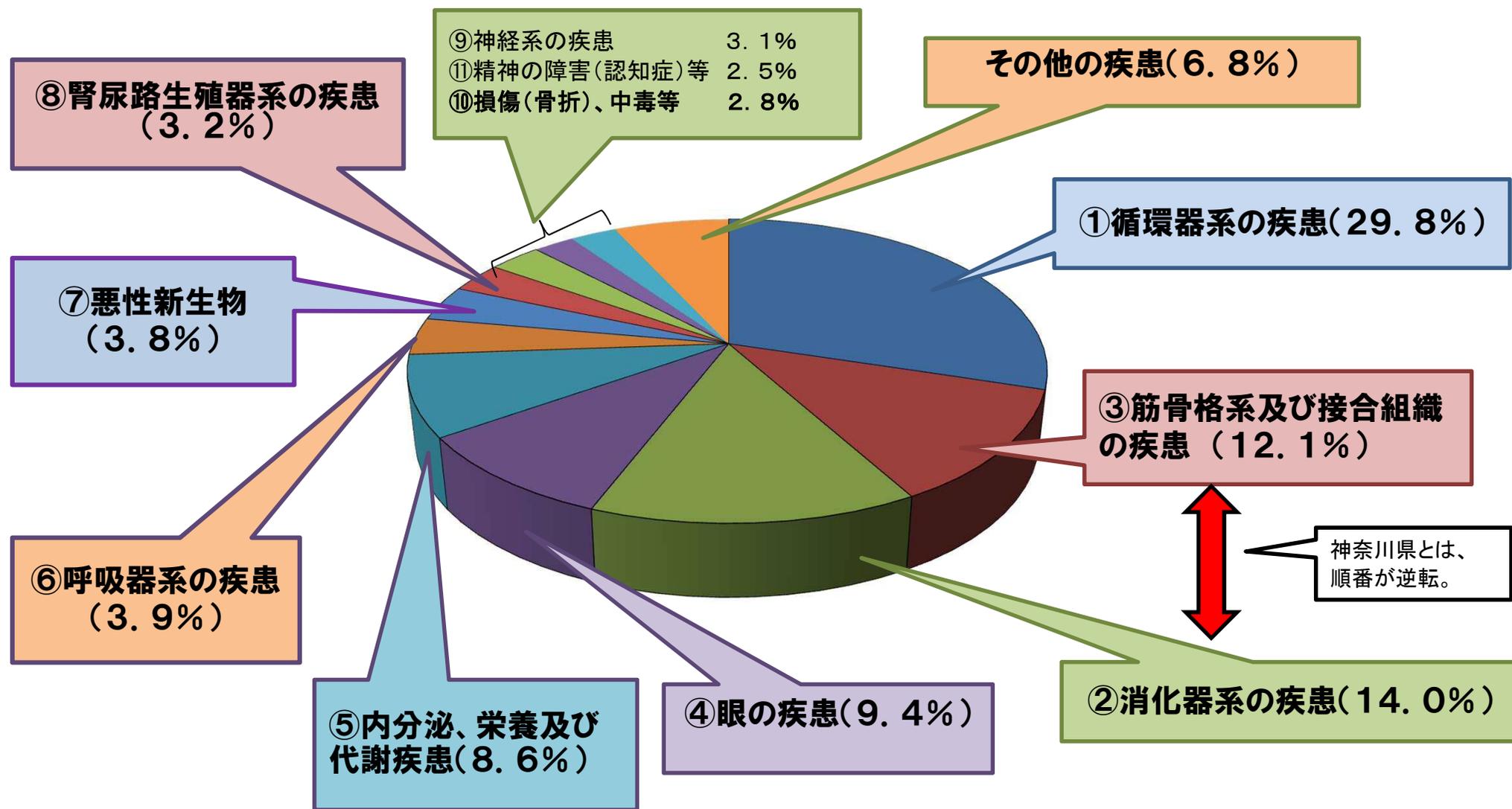
## (入院と外来) 疾病別のレセプト件数比率 (H23年5月分 106万件)

全国の5%の件数



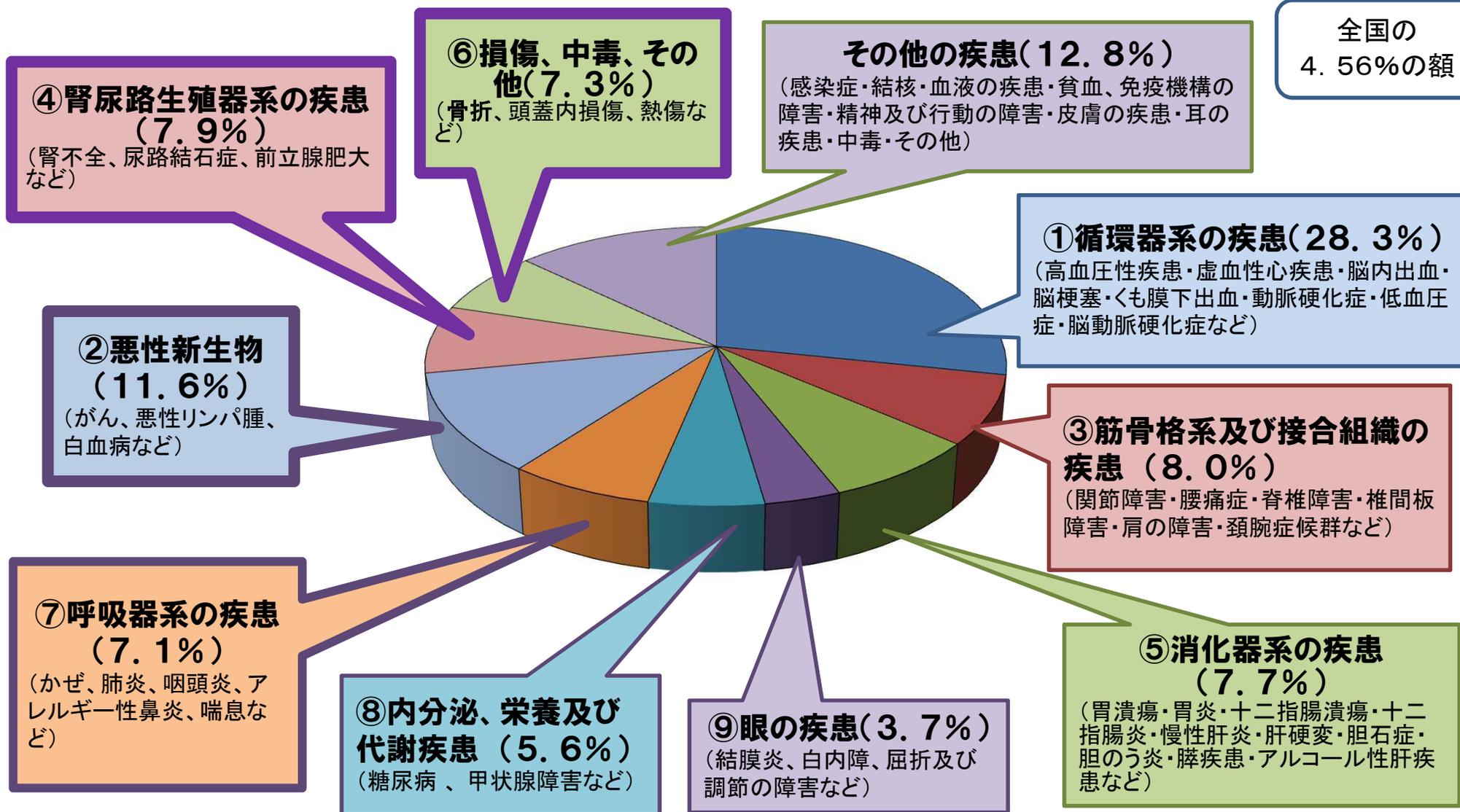
(全国)

(入院と外来) 疾病別のレセプト件数比率(2120万件)



# (神奈川県分)

## (入院と外来)疾病別の医療費状況(H23年5月分 382億円)

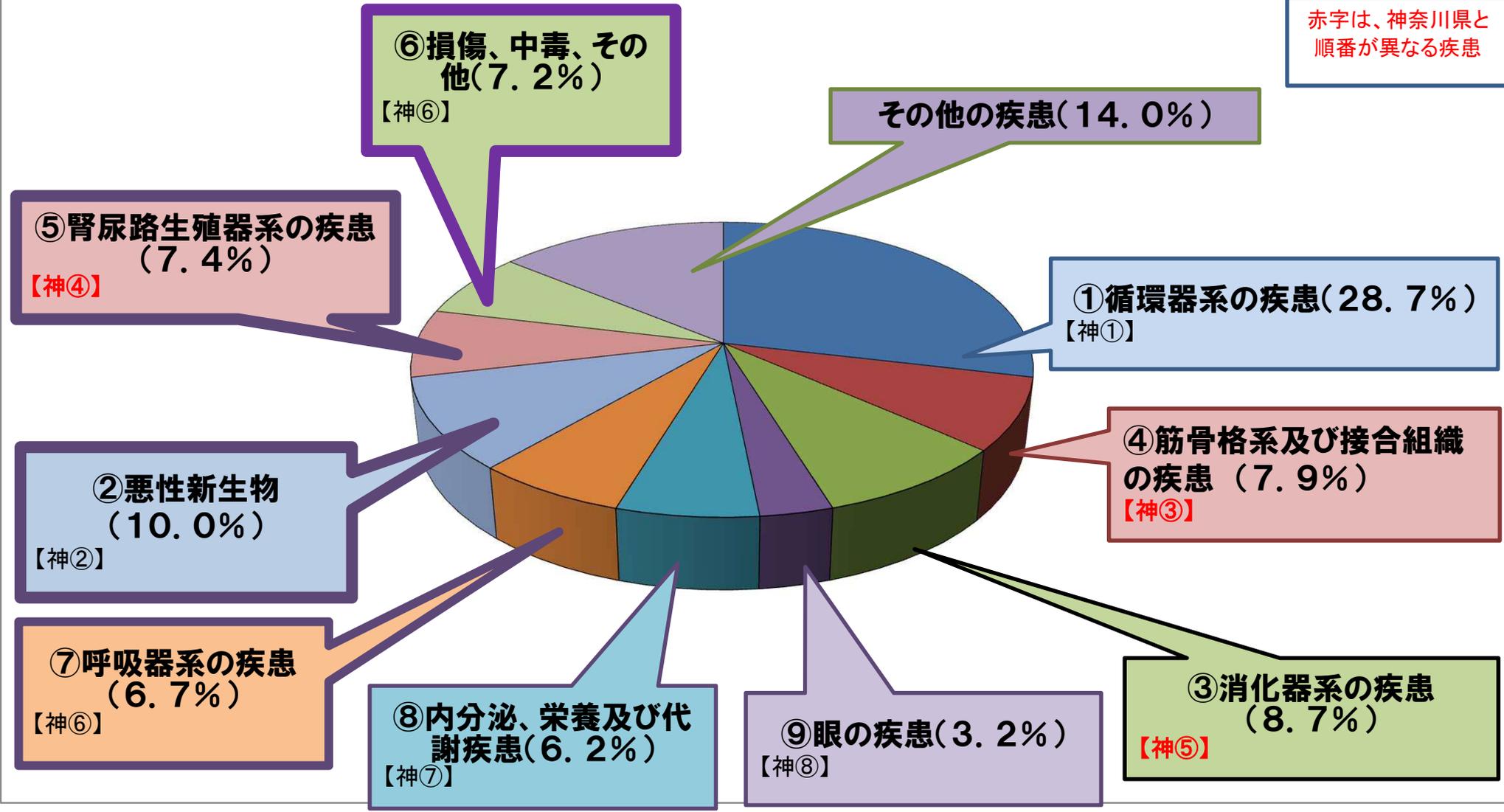


⑦②④⑥は、レセプト件数の割合に比べ、医療費の割合が著しく高くなっています。

(全国)

(入院と外来) 疾病別の医療費状況(8384億円)

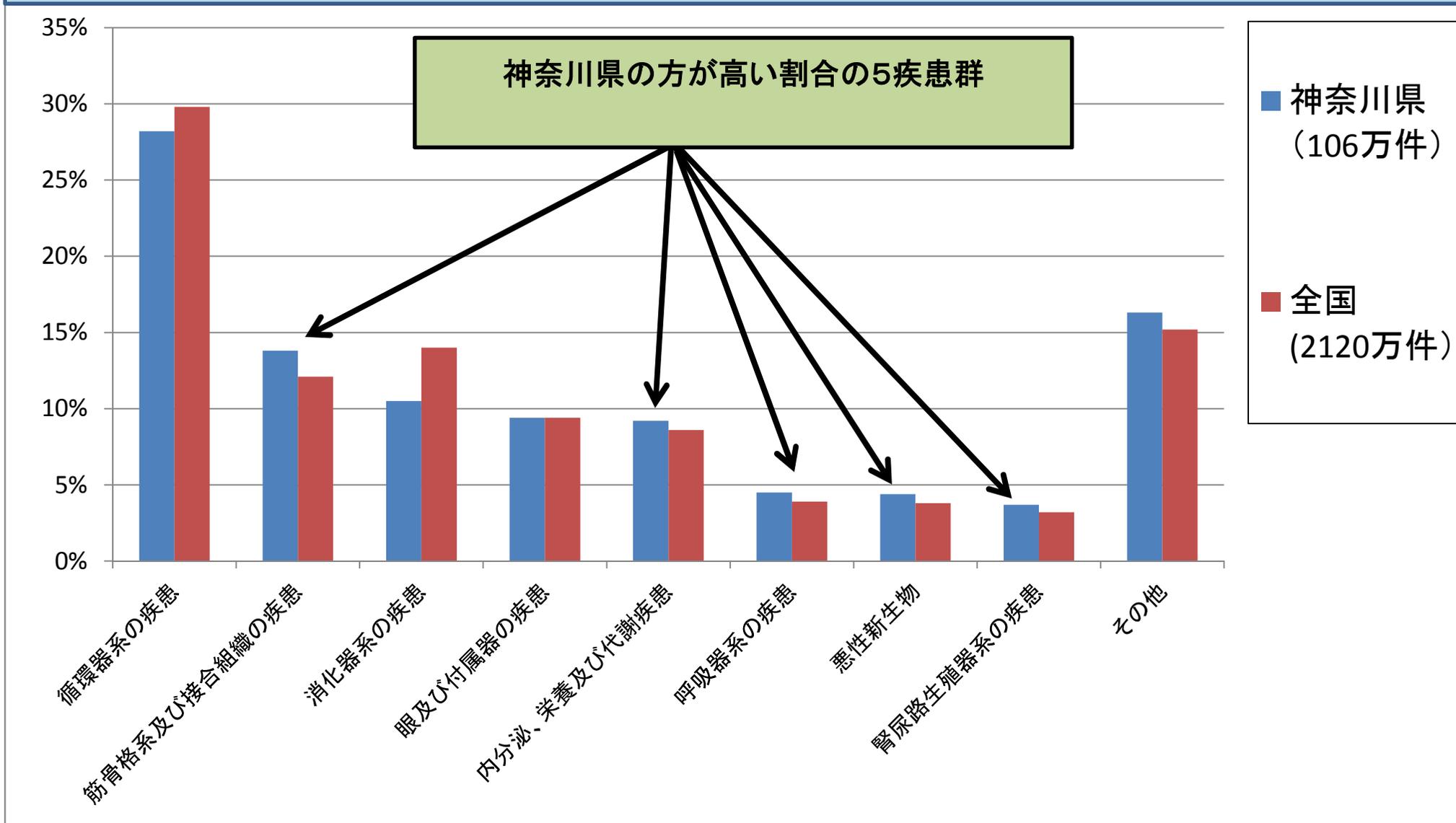
赤字は、神奈川県と  
順番が異なる疾患



⑦②⑤⑥は、レセプト件数の割合に比べ、医療費の割合が著しく高くなっています。

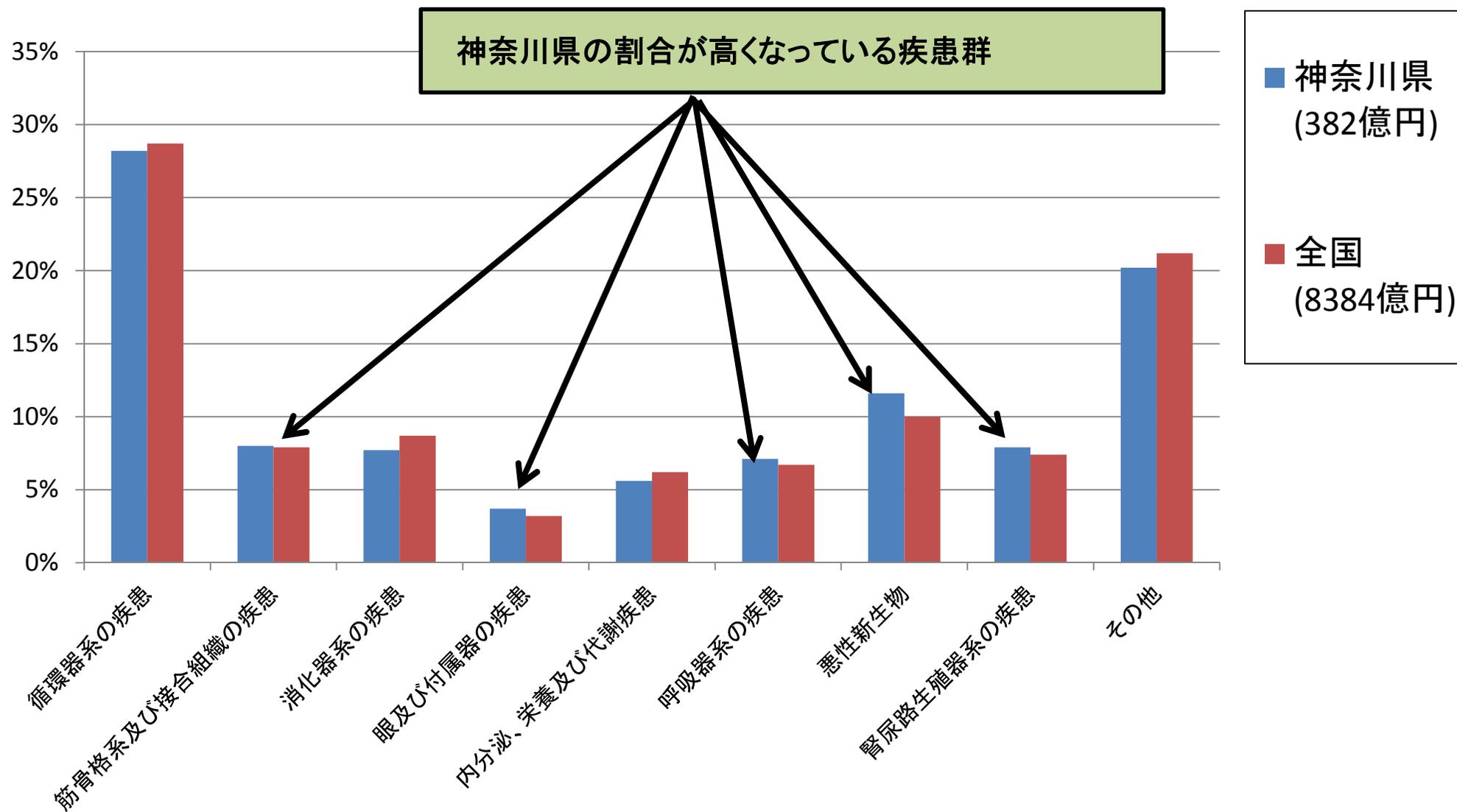
# (神奈川県と全国の比較)

(入院+外来) 疾病別のレセプト件数比率【H23年5月】



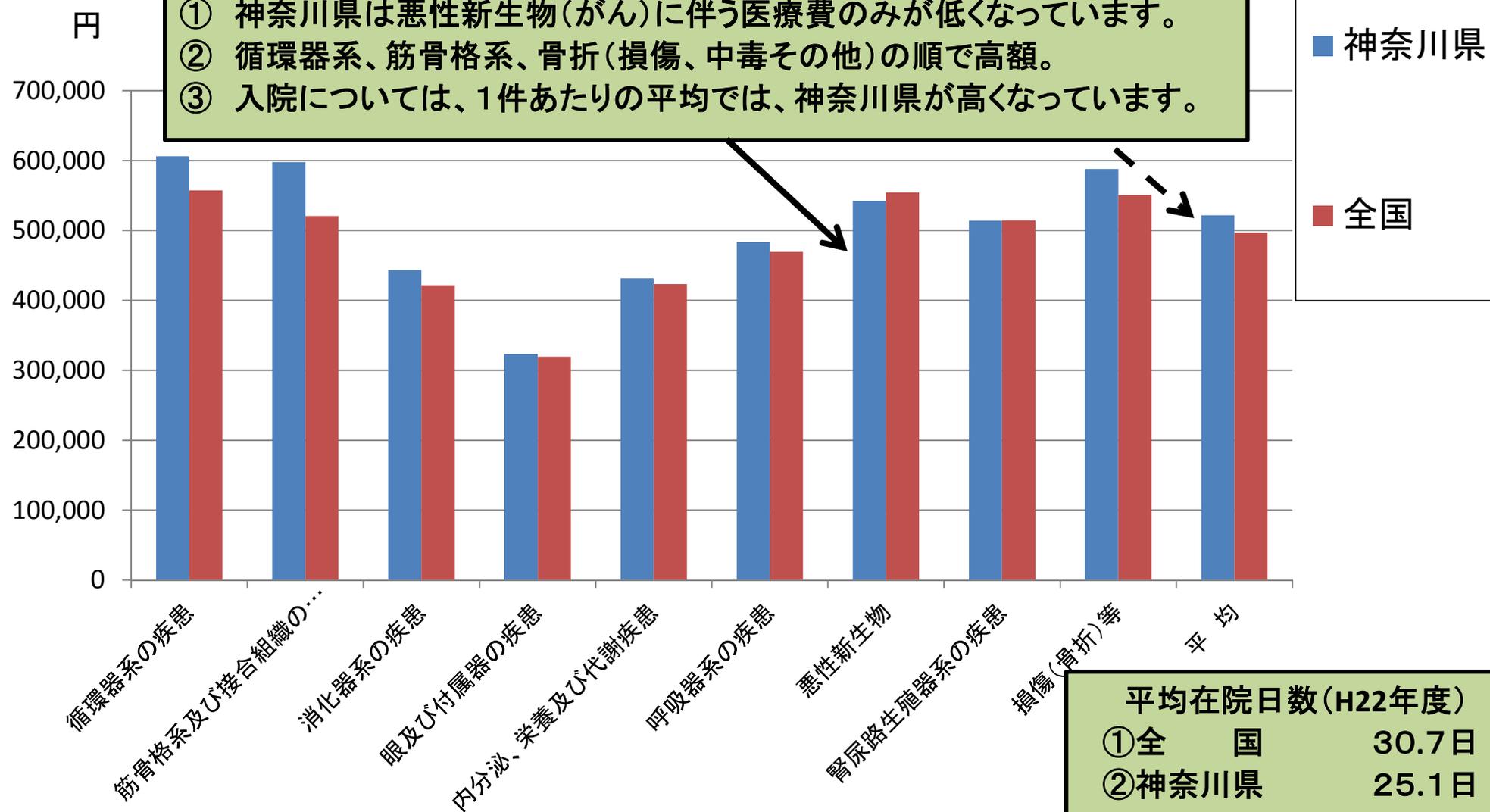
# (神奈川県と全国の比較)

(入院と外来) 疾病別の医療費(10割分)比率【H23年5月】



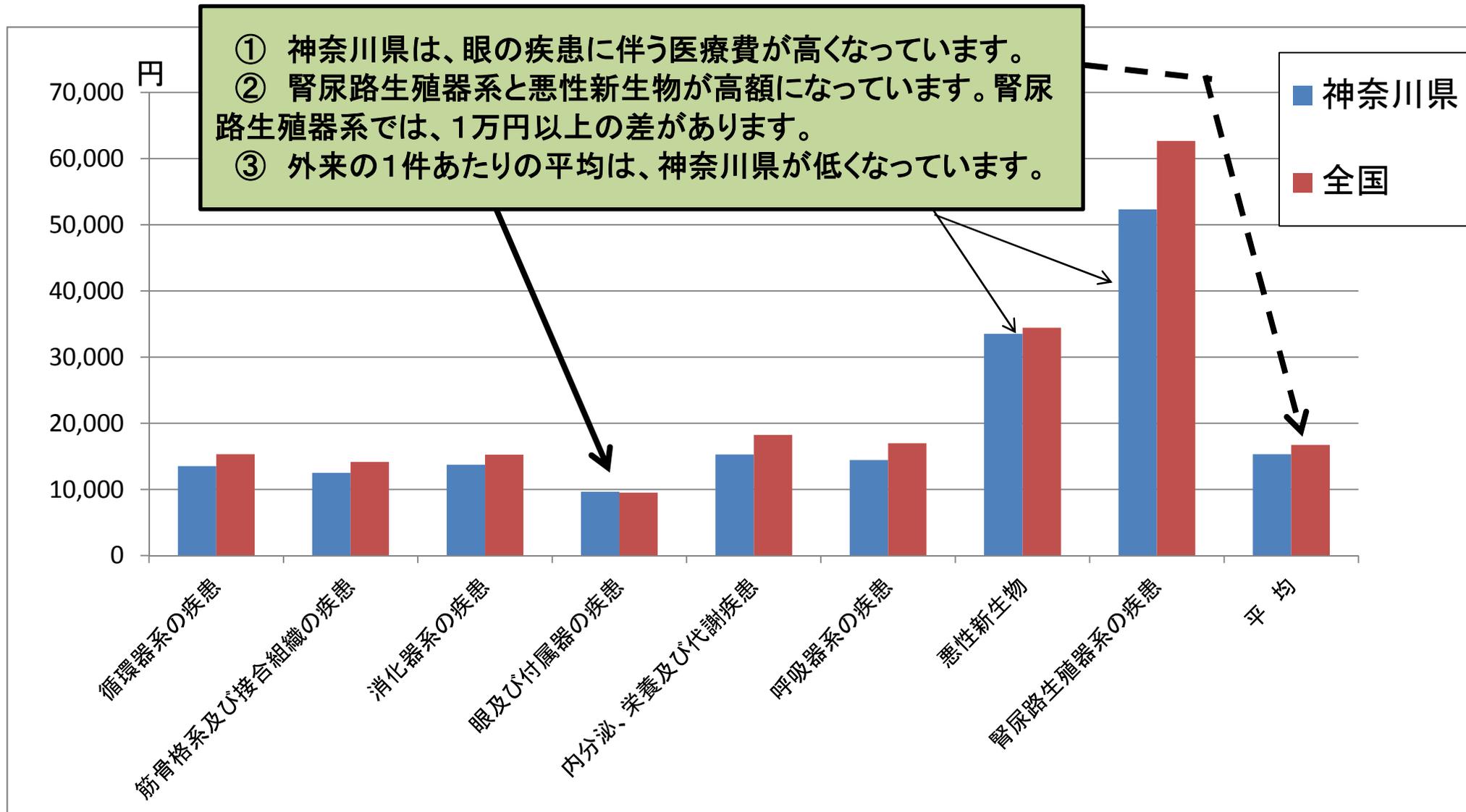
# (神奈川県と全国の比較)

## (入院) 疾病別のレセプト1件あたりの医療費(10割分)

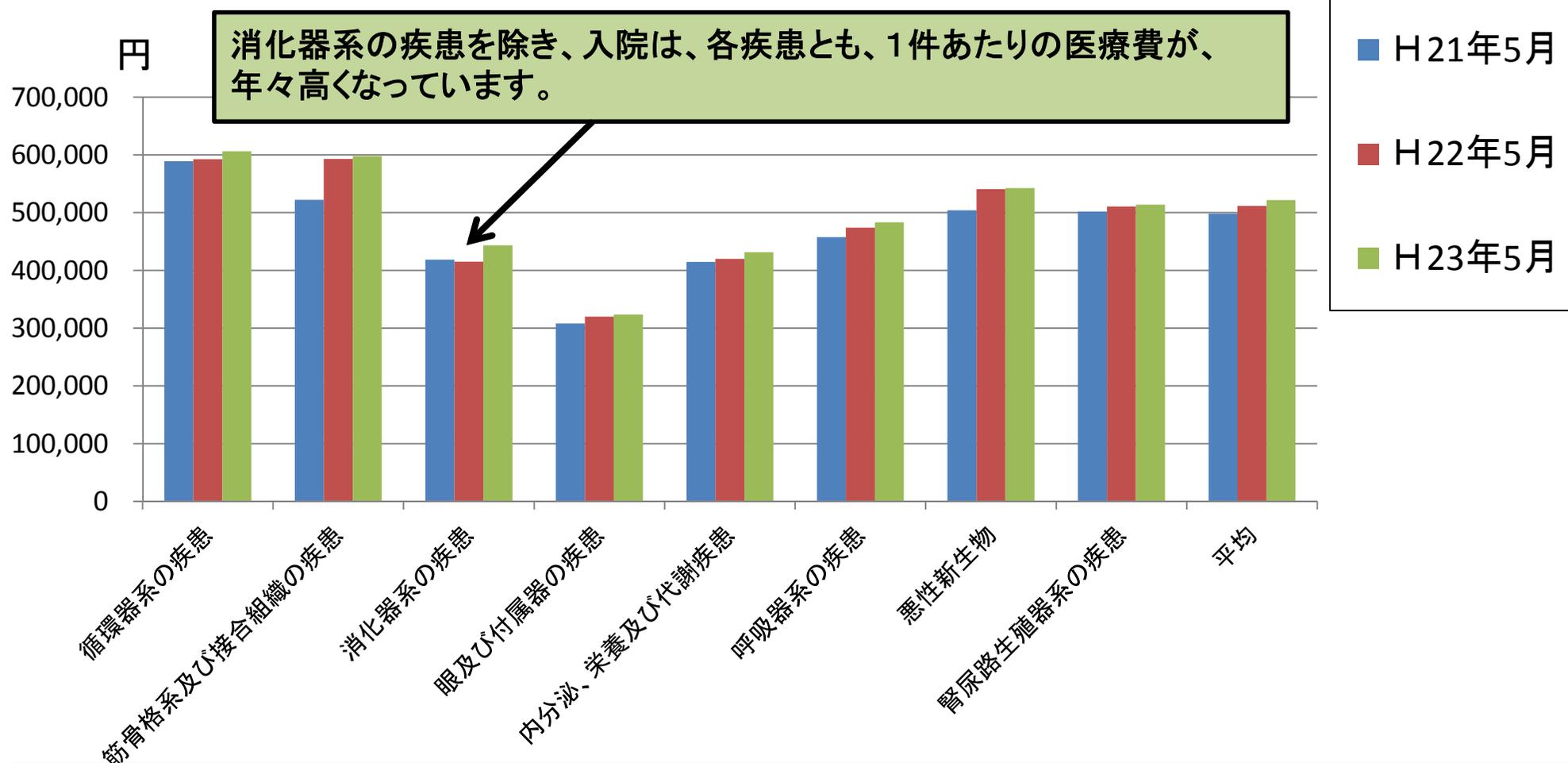


# (神奈川県と全国の比較)

(外来) 疾病別のレセプト1件あたりの医療費(10割分)



# (神奈川県) H21年～H23年の5月診療分における (入院) レセプト1枚当たりの医療費(10割)



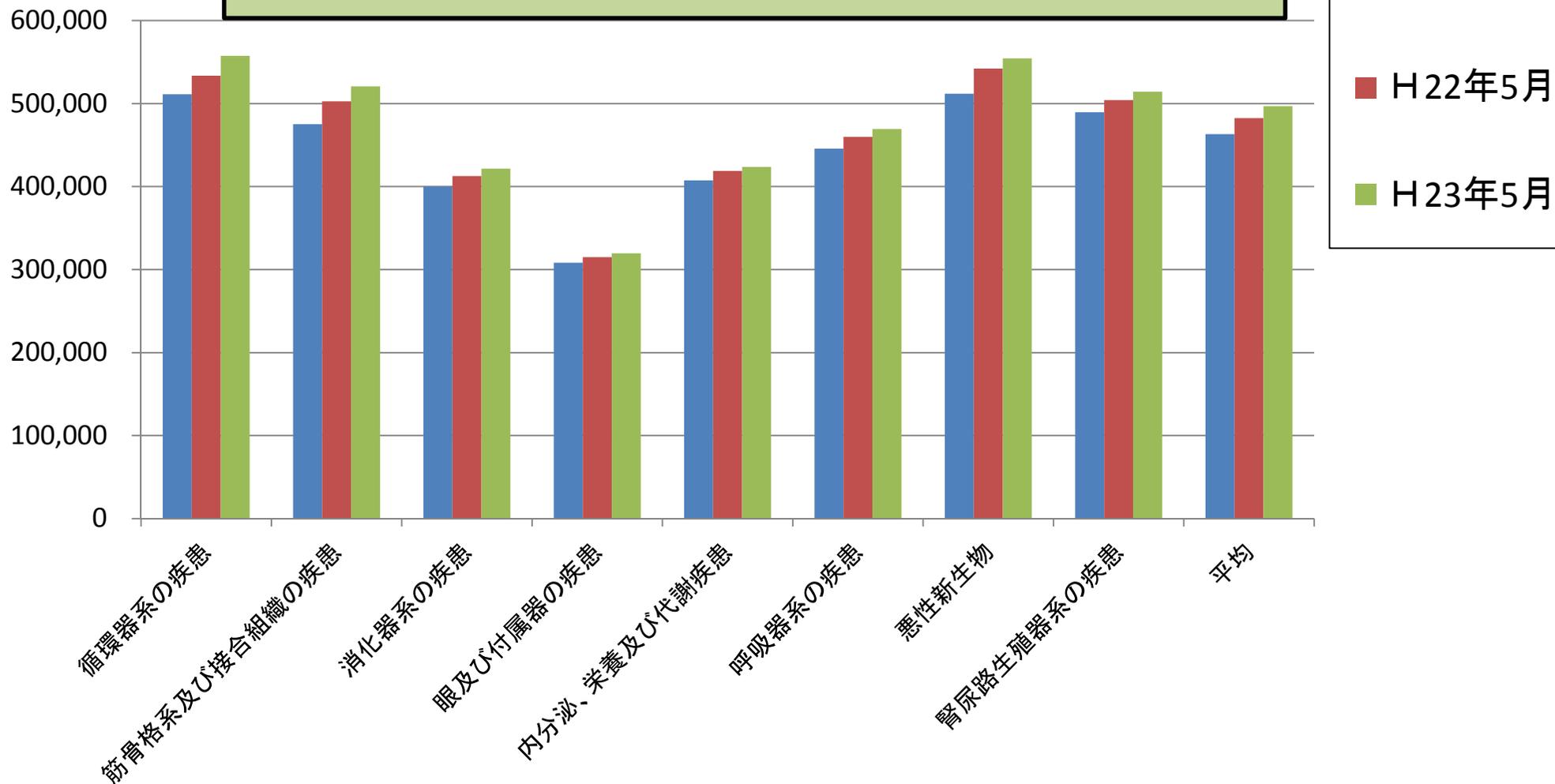
厚生労働省は、H22年度の国全体の医療費は、診療報酬改定の影響で+0.19%、高齢化の影響で+1.6%、医療の高度化(新薬、新しい手術・治療方法の確立、高度な診断機器の普及)などで+2.1%、合計で+3.9%の伸び率があったと推計しています。

(全国)

# H21年～H23年の5月診療分における (入院) レセプト1枚当たりの医療費(10割)

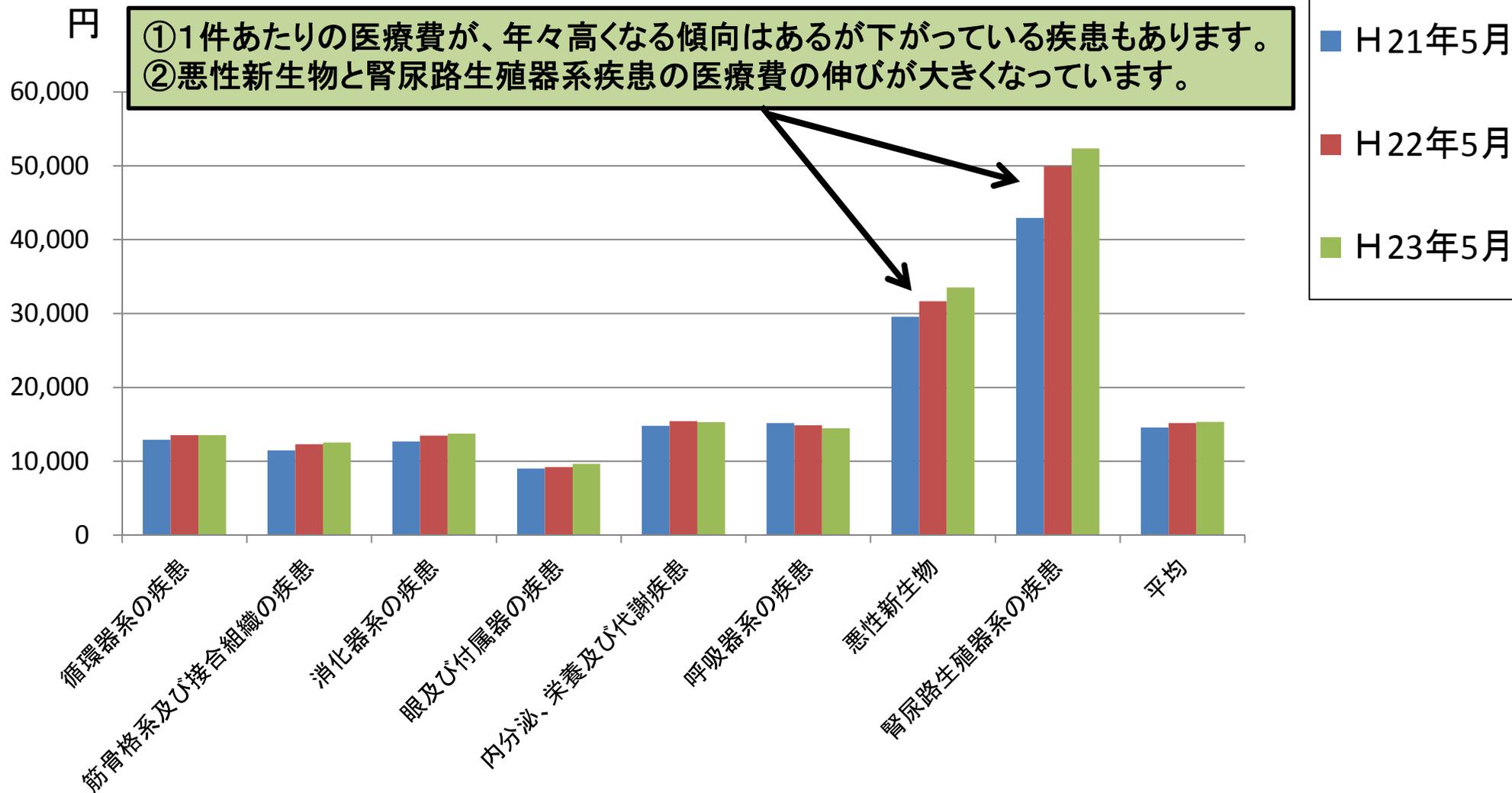
円

入院は、各疾患とも、1件あたりの医療費が、年々高くなっています。



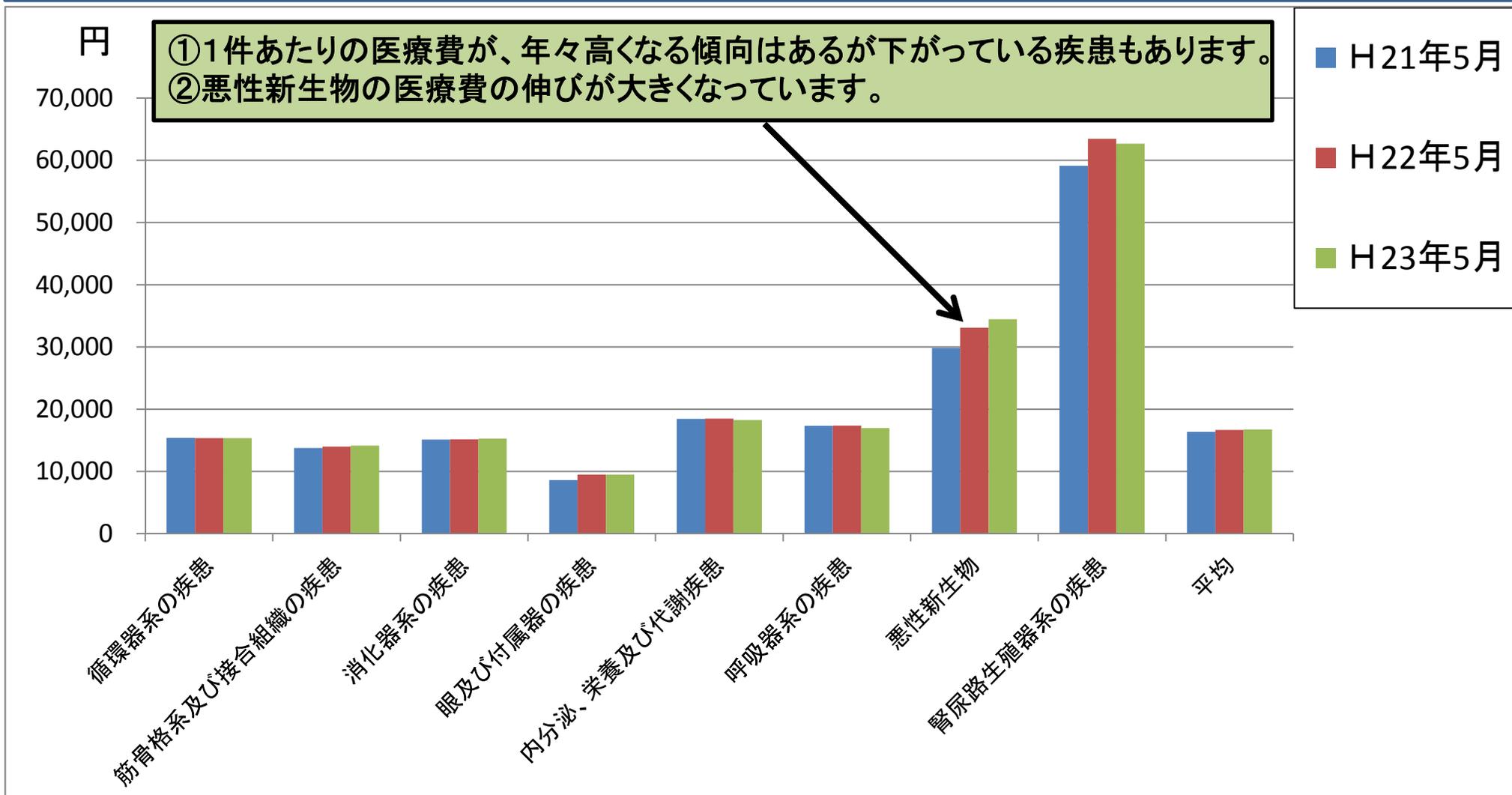
# (神奈川県)

## H21年～H23年の5月診療分における (外来) レセプト1枚当たりの医療費(10割)

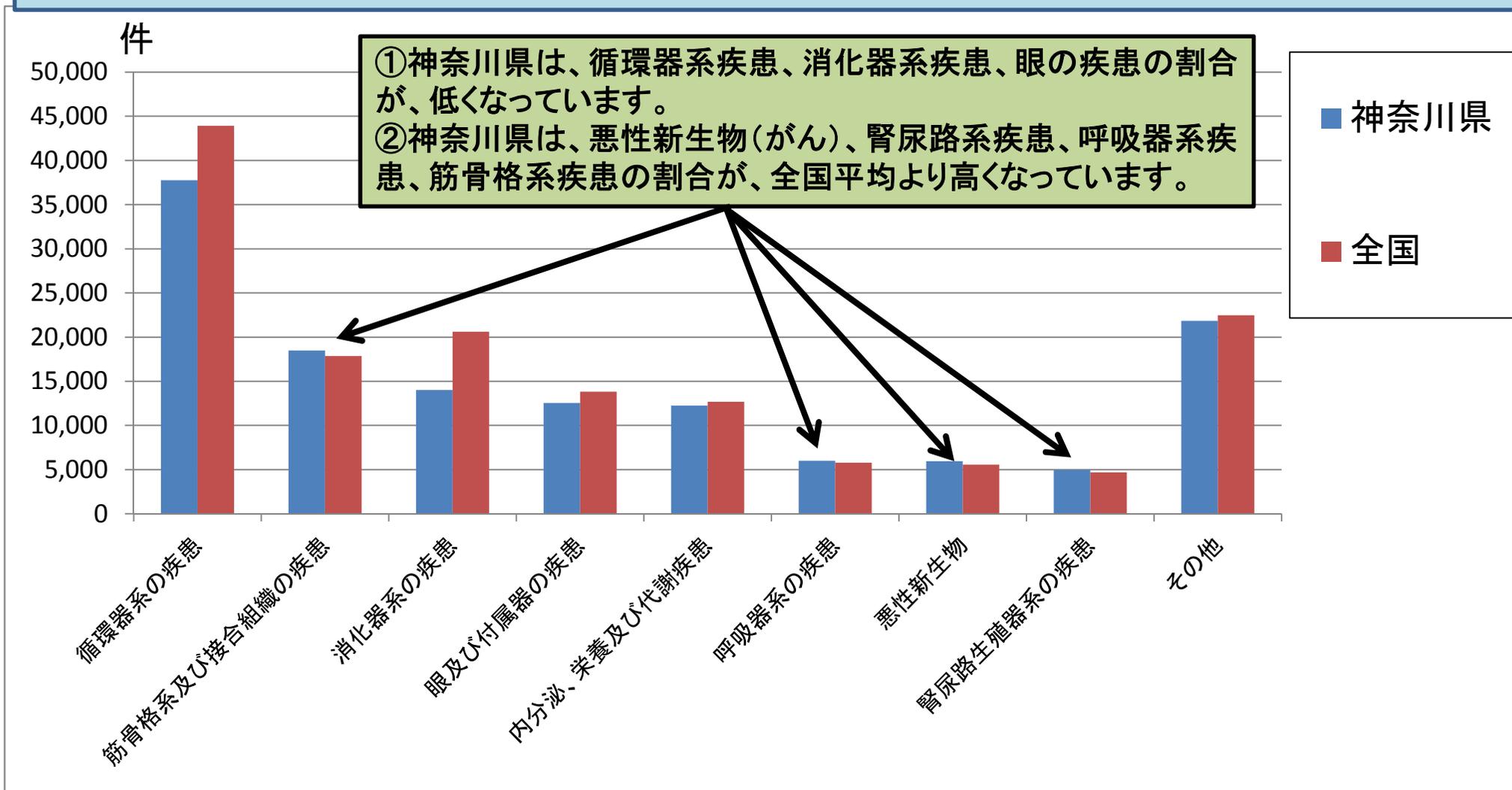


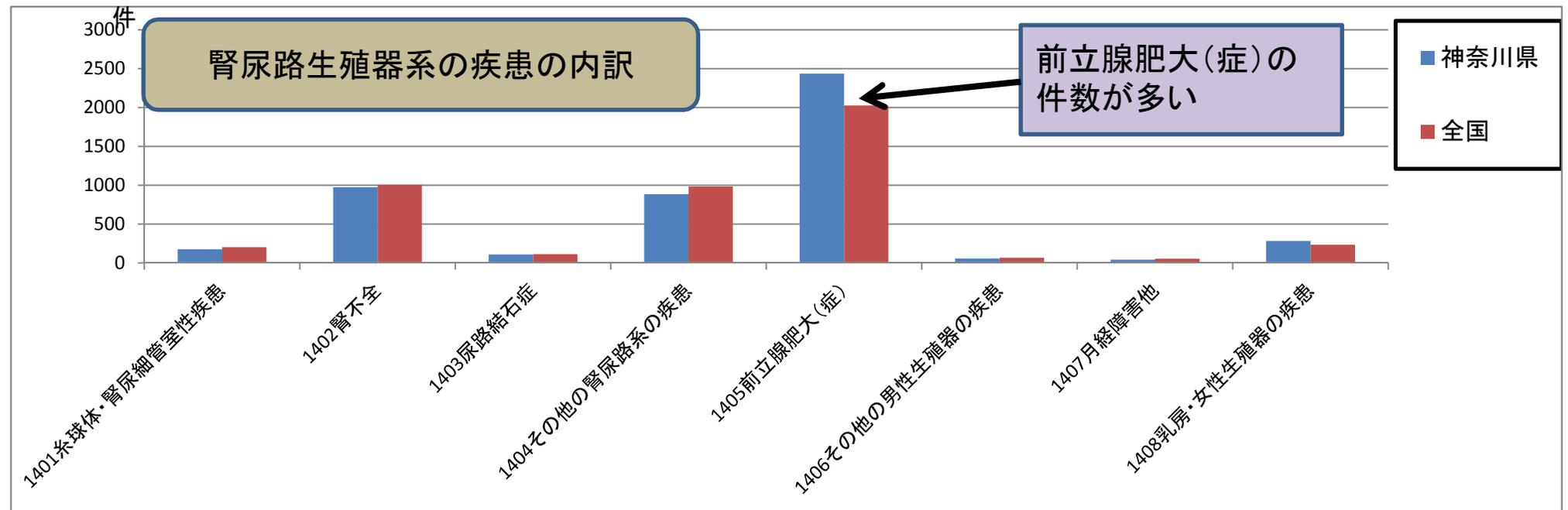
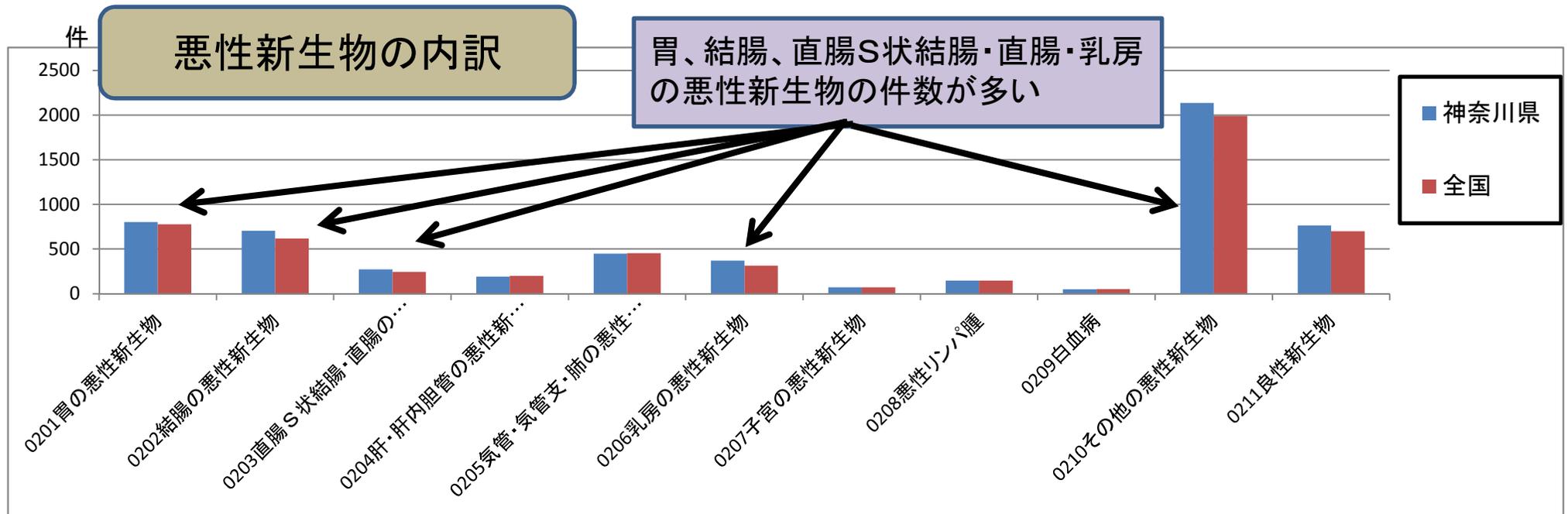
(全国)

# H21年～H23年の5月診療分における (外来) レセプト1枚当たりの医療費(10割)



# 神奈川県と全国の後期高齢者医療制度における 平成23年5月分医科(入院+外来)の 疾病別の10万人当たりのレセプト件数





## 神奈川県後期高齢者医療制度における疾病状況の特徴

### 1 全国水準に比べて神奈川県の受診者数が多い疾病群(10万人あたり)

	神奈川県	全国	対全国比
①悪性新生物	5,955人	5,565人	107.0%
②腎尿路系の疾患	4,967人	4,693人	105.8%
③呼吸器系の疾患	6,015人	5,795人	103.8%
④筋骨格系の疾患	18,497人	17,864人	103.5%

(注) 神奈川県は、レセプト電子化普及率が全国平均より低いので、対全国比は、さらに高くなることが考えられます。

### 2 全国水準に比べて神奈川県の受診者数が少ない疾病群(10万人あたり)

	神奈川県	全国	対全国比
①消化器系の疾患	14,017人	20,601人	68.0%
②循環器系の疾患	37,752人	43,905人	86.0%
③眼の疾患	12,560人	13,834人	90.8%
②内分泌系の疾患	12,255人	12,679人	96.7%

### 3 全国水準に比べて神奈川県を受診者数が少ない(10万人あたり)

神奈川県	全国	対全国比
133,863人	147,415人	90.8%

(注) 神奈川県は、レセプト電子化普及率が全国平均より低いので、対全国比は、さらに高くなることが考えられます。

### 4 全国水準に比べて神奈川県を受診者数が多い疾病(10万人あたり)

※その他でまとめた項目は除きます。

	神奈川県	全国	対全国比
①1006 アレルギー性鼻炎	993人	719人	138%
②1002 急性咽頭炎・扁桃炎	175人	132人	132%
③1309 骨の密度・構造の障害	3,283人	2,581人	127%
④1405 前立腺肥大(症)	2,435人	2,026人	120%
⑤1303 脊椎障害	6,310人	5,313人	119%
⑥0505 神経症性障害等	864人	733人	118%
⑦0206 乳房の悪性新生物	369人	314人	117%
⑧0910 痔核	341人	294人	116%
⑧0104 皮膚・粘膜のウイルス疾患	396人	343人	116%
⑩1007 慢性副鼻腔炎	483人	418人	115%
⑩0202 結腸の悪性新生物(114%)		⑩0203 直腸S字結腸・腸の悪性新生物(111%)	
⑬0211 良性新生物(109%)		⑬0703 屈折及び調整の障害(109%)	⑮1304 椎間板障害(107%)
⑰1110 胆石症及び胆のう症(105%)		⑰1701 心臓の先天奇形(104%)	⑰0201 胃の悪性新生物(103%)

(注) 神奈川県は、レセプト電子化普及率が全国平均より低いので、対全国比は、さらに高くなることが考えられます。

## 5 神奈川県で受診者数が多い疾病

※その他でまとめた項目は除きます。

修正後

### 入院

①0906 脳梗塞	3, 834人(8.85%)
②1901 骨折	3, 096人(7.15%)
③1004 肺炎	1, 974人(4.56%)
④0902 虚血性心疾患	1, 366人(3.15%)
⑤1402 腎不全	1, 138人(2.63%)
⑥0702 白内障	1, 106人(2.55%)
⑦0905 脳内出血	1, 104人(2.55%)
⑧0503 統合失調症他	1, 067人(2.46%)
⑨0402 糖尿病	980人(2.26%)
⑩0901 高血圧性疾患	975人(2.25%)
⑪0602 アルツハイマー病	884人(2.04%)
⑫0501 認知症	868人(2.00%)

### 外来

①0901 高血圧性疾患	195, 035人(19.21%)
②1303 脊椎障害	49, 173人(4.84%)
③0402 糖尿病	48, 692人(4.80%)
④1102 歯周炎	36, 332人(3.58%)
⑤1302 関節症	35, 029人(3.45%)
⑥0703 屈折・調整の障害	31, 603人(3.11%)
⑦0702 白内障	27, 409人(2.70%)
⑧0902 虚血性心疾患	25, 913人(2.55%)
⑨0906 脳梗塞	25, 892人(2.55%)
⑩1309 骨の密度・障害	25, 844人(2.55%)
⑪1105 胃炎・十二指腸潰	23, 289人(2.29%)
⑫1405 前立腺肥大(症)	19, 124人(1.88%)

### 3. 健康増進の総合的な推進 ..... 健康増進計画（概要）H25～

平成24年11月15日（前回資料）  
モニター懇談会資料 3 - 3

#### 趣旨

生活習慣や社会環境の改善を通じて、ライフステージ（乳幼児期、青壮年期、高齢期等の生涯における各段階）に応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現し、その結果、社会保障制度が持続可能なものとなるよう、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、「21世紀における第2次国民健康づくり運動（健康日本21（第二次）」を推進。

#### 第2次計画の基本的な考え方

① 「健康寿命」の延伸・  
「健康格差」の縮小  
(日常生活に制限のない期間)

② 生活習慣病の発症予防  
と重症化予防の徹底

③ 社会生活を営むために必要  
な機能の維持及び向上

④ 健康を支え、  
守るための社会  
環境の整備

⑤ 栄養・食生活、身体  
活動・運動、休養、  
飲酒、喫煙、歯・口  
腔の健康に関する  
「生活習慣や社会  
環境の改善」

①地域のつながりの強化 ②健康づくりへの参加(3%→25%) ③取組企業の増加(420→3000社) ④民間団体の活動拠点の増加 ⑤健康格差対策推進の自治体増加

平均寿命の増加を上回る 「健康寿命」の増加 (平成22年)	全国 (平均寿命との差)	神奈川県
	男性70.42年 (9.13年)	70.90年
	女性73.62年 (12.68年)	74.36年
都道府県別「健康格差」 の縮小 (平成22年)	男性2.79年差 (愛知71.74年～青森68.95年)	女性2.95年差 (静岡75.32年～滋賀72.37年)

食生活の改善・運動習慣の定着

①こころの健康	①自殺者減少 ②心理的苦痛を感じる人の減少(10.4%→9.4%) ③取組職場100%へ④小児・児童精神科医師の増
②次世代の健康	①こどもの健康な生活習慣 ②低出生体重児(2500g未満)減少(9.6%→減)

③ 高齢者の健康	①介護保険サービス利用者の増加の抑制(657万人に抑制) ②認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上(0.9%→10%) ③ロコモ(※)認知者の増加(17.3%→80%) ④低栄養傾向高齢者の抑制(22%以下) ⑤足腰に痛みのある高齢者の減少(約1割減) ⑥高齢者の社会参加の促進(就業や地域活動)(男性64%、女性55.1%→80%)
----------	---

(※)ロコモ(ロコモティブ シンドローム、運動器症候群)：骨や関節、筋肉などの運動器の障害によって要介護になる危険が高い状態のこと

がん	①死亡率減少(84.3人→73.9人) ②がん検診受診率向上(50%)
循環器疾患	①死亡率減少(脳血管疾患：男性49.5人→41.6人、女性26.9人→24.7人) ②最高血圧の平均値を改善(4mmHg減) ③脂質異常症者減少(女性22%→12%) ④メタボ該当者・予備群減少(25%減) ⑤検診実施率向上
糖尿病	①新規透析(合併症)減少(16,247人→15千人) ②治療継続者増加(64%→75%) ③高血糖患者減少(コントロール不良1.2%→1%) ④有病者増加抑制(1410万人→1千万人)
COPD	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の認知度向上(25%→80%)

ロコチェック・ロコトレ

適正体重の維持(肥満者割合31.2%→28%)・適切な質と量の食事摂取(食塩摂取10.6g→8g)・日常生活での歩数の増加(男性9000歩、女性8500歩)・運動習慣者増加・十分な睡眠確保・過度の飲酒の抑制・喫煙率の減少(19.5%→12%)・受動喫煙減少・口腔機能の維持と向上、歯の喪失防止(80歳20歯以上：25%→50%)など

# 神奈川県「かながわ健康プラン21（第2次）」から（H25年4月～H34年3月）

## 目標

- 1 平均寿命の延伸の増加分を上回る健康寿命の延伸を図る。
- 2 県内の各地域の健康格差の縮小を図る。

こうしたことにより、  
「健康寿命 日本一」を目指します。

## 1 主な分野別の取組

栄養・食生活	1-① 低栄養傾向の高齢者の増加の抑制 1-② 適正体重を維持している者の割合の増加 1-③ 食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 1-④ 食塩一日摂取量が8g未満の者の割合の増加 1-⑤ 野菜一日摂取量が350g以上の者の割合の増加 1-⑥ 果物一日摂取量が100g未満の者の割合の減少 1-⑦ 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数の増加
運動	2-① ロコモティブシンドロームを認知している県民の割合の増加 2-② 日常生活における歩数の増加 2-③ 運動習慣者の割合の増加
こころの健康	3-① 目覚めたときに疲労感の残る者の割合の減少 3-② 週労働時間60時間以上の就業者の割合の減少 3-③ 自殺者の減少 3-④ 気分障害(躁うつ病を含む)の患者の減少
飲酒	4-① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少
喫煙	5-① 成人の喫煙率の減少 5-② 受動喫煙の防止 5-③ 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上
歯・口腔の健康	6-① 60歳代以降における咀嚼満足者の割合の増加 6-② 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加 6-③ 60歳代以降における進行した歯周疾患を有する者の割合の減少
健康	7-① 介護保険サービス利用者の増加の縮小
生活習慣病の発症・重症化予防	8-① 脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の減少 8-② 高血圧の改善 8-③ がん検診受診率の向上 8-④ 脂質異常症の減少 8-⑤ 血糖コントロール不良者の割合の減少 8-⑥ 糖尿病有病者の増加の抑制 8-⑦ 新規透析導入者の減少 8-⑧ 糖尿病治療継続者の割合の増加
社会整備	9-① 健康づくりの活動に主体的に関わっている県民の割合の増加 9-② 健康づくり事業で健康格差への対策を図っている市町村の増加

## 2 神奈川県の役割

- ①市町村、保険者等と協力し、環境整備を行い、県民が取り組む健康づくりを支援する。
- ②生活習慣病予防や健康づくりに関する情報の収集・分析を行い、関係機関に提供する。
- ③健康づくりを支える人材の育成
- ④市町村の健康増進計画策定等への支援を行う。
- ⑤関係機関と連絡会議を行い、進捗状況の確認、情報交換、連携をし、効果的に県民の健康づくりを推進する。

## 3 市町村の役割

- ①住民の健康づくりの推進役として、関係機関と連携し、市町村の実態に合わせた健康づくりを展開する。
- ②身近な拠点で、健康相談や健康教育を行う。生涯教育・スポーツと連携し、保健事業を効率的に行う。
- ③生活習慣病予防の啓発や健康に関する情報、保健事業等の情報を提供していく。
- ④地域の健康づくりの人材の育成
- ⑤住民の活動を支援し、地域のコミュニティの活性化を図る。
- ⑥健康増進計画により、市町村の実態に応じた健康づくりを計画的に推進する。